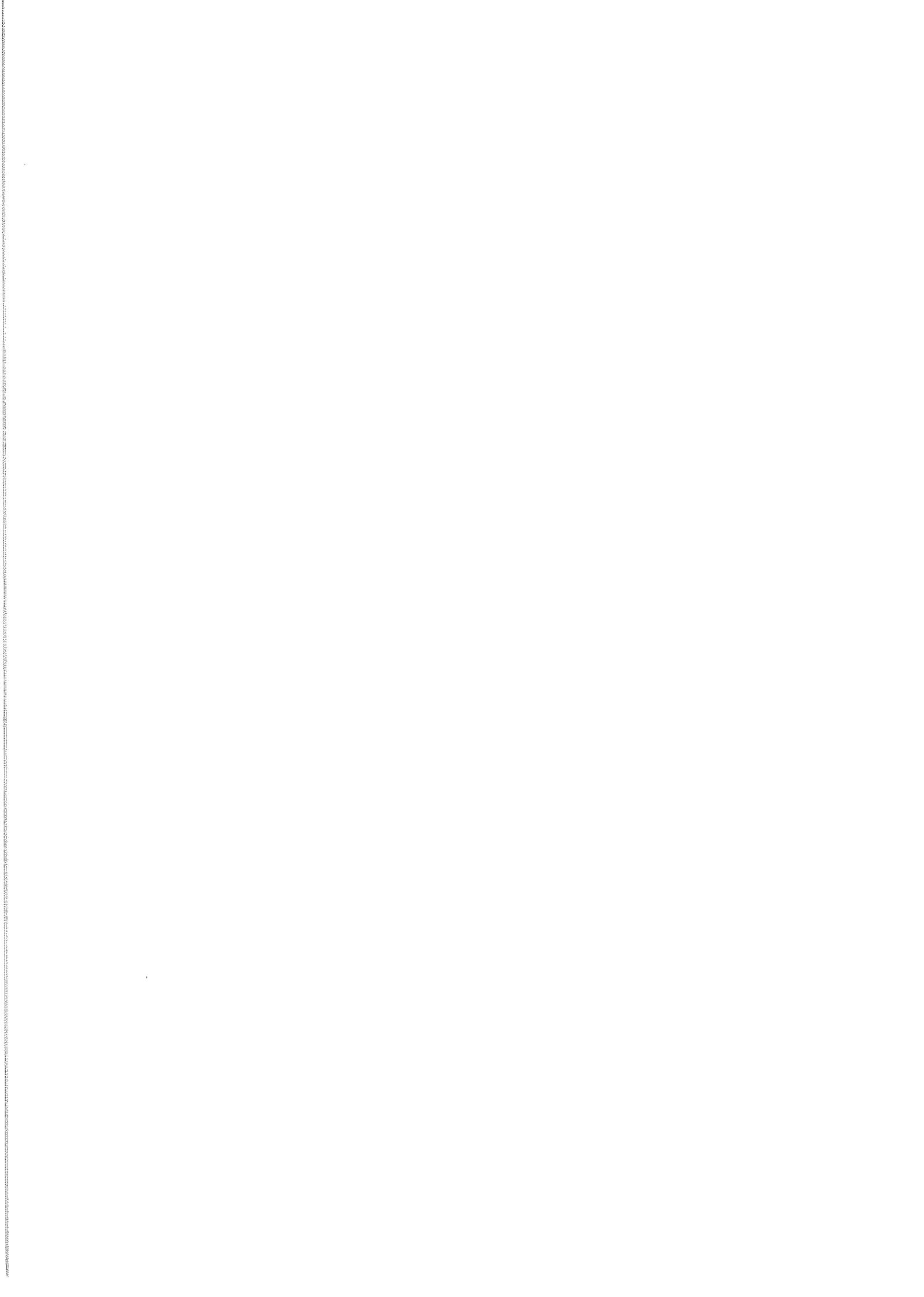


平成 2 8 年 度

# 事業報告書

自 平成 2 8 年 4 月 1 日  
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

1. 法人本部	・・・	1 ~	1 2
2. 和進館保育園	・・・	1 3 ~	2 4
3. 和進館児童ホーム	・・・	2 5 ~	3 2
4. 平田保育園	・・・	3 3 ~	3 8
5. 平田豊生苑	・・・	3 9 ~	6 2
6. 守山豊生苑	・・・	6 3 ~	7 2
7. 収益事業	・・・	7 3	



# 平成28年度 事業報告

社会福祉法人 和進奉仕会

平成29年4月社会福祉法の改正施行に伴い、社会福祉法人を取り巻く環境は激変を遂げました。その主旨は『経営組織のガバナンスの強化』『事業運営の透明性の向上』『財務規律の強化』『地域における公益的な取組を実施する責務』などですが、評議員会の議決機関への改定や定款の大幅な変更、様々な規定類の整備と、その準備に忙殺された平成28年度でした。

このような経営環境の中、和進奉仕会も従来からの事業を充実させると共に、人材の育成、新しい事業展開に取り組んできました。社会福祉事業をより一層レベルアップすると共に、新規事業の開拓など、経営体力をつけ、厳しい環境を乗り越えていくように努めました。

一方で人材不足は大半の事業に影響を落とし、事業によっては縮小を余儀なくされるものもありました。

以下に平成28年度の事業内容を総括します。

## 1. 基本的福祉サービスの充実

『和進・奉仕・豊生』という法人理念の下、従来から行っている保育・児童養護・老人介護の基本的福祉サービスを、より充実させるべく努力してきました。詳細は各施設からの報告としますが、法人として各施設の事業展開の支援を行いました。

## 2. 人材育成

### 1) 新人職員研修

平成27年度中途採用職員、及び平成28年度新規採用職員に対し、新人職員研修を実施しました。法人の沿革や設立の経緯、法人理念（和進奉仕豊生）などを講義し、和進奉仕会の職員として自覚を深めました。

### 2) 中堅職員研修・幹部職員研修

#### (1) 新任の管理・監督職向け研修

ビデオ学習とフリーディスカッションを中心に、新たな昇格者5名に対して開催。部下育成の必要性や意義、考課の方法や注意点などの理解を深めています。

#### (2) レベルアップ研修

研修目的、内容などの検討で留まっています。法人として進む方向を明確にし、必要とする人材像を確立する等、未だ課題が多い状況です。

### 3) 人事考課制度の見直し

各施設で、現場の状況・各職種の専門性に合わせ、一部考課体制・内容を改善できました。

## 3. 財務

### 1) 資産の管理

中・長期的な事業展開に合わせ、余剰資金について安全かつ高利率な運用を行いました。

### 2) 法人負債の償還

和進ふれあいセンター（和進館児童ホーム・守山豊生苑）は、借入金償還計画に基づき、随時、漏れなく償還しました。

### 3) 提携会計事務所の見直し

社会福祉法改正で求められた『財務規律の強化』に対応し、サポートを受ける会計事務所などの外部資源について見直しを行いました。

## 4. 施設間の連携

### 1) 経営会議の開催

各施設長及び本部事務職員で構成する「法人経営会議」を毎月2回定期開催しました。情報の共有、相互検証や意見交換を進めました。

## 5. 地域関係との連携

保育事業における『子育て支援事業』や『名古屋のびのび子育てサポート事務局支部に関する受託業務』、老人介護事業における『高齢者いきいき相談室事業』『シルバーハウジング生活援助員派遣事業』など、施設利用者以外の地域の方々にもサービス提供する事が出来ました。今後も継続してまいります。

## 6. 広報活動

### 1) 広報誌『和進』の発行

年2回の定期発行を行いました。日頃の活動報告だけではなく、施設運営の中で抱えている問題の提起など、内容についても充実させる事が出来ました。

## 2) ホームページの運営

各施設の活動内容の報告を中心に、1ヶ月に2回以上の定期更新を行う事が出来ました。

## 7. 第三者評価事業

平成28年度、和進館児童ホームにて、愛知県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価事業所による第三者評価を受けました。しかし、他の事業所においては信頼できる評価機関が定まらず、本格的な導入には至っていません。

法人として設置している『苦情処理委員会』は年2回の定期会合を開催し、第三者委員より貴重な意見を頂いております。

## 8. 評議員会・理事会の開催

法人運営の状況に合わせ、以下の通り開催し、議決しました。

### 1) 評議員会

<第60回> ー平成28年 5月27日ー

- ・平成27年度事業報告及び決算
- ・理事及び監事の選任
- ・諸規定の改正
- ・平田豊生苑 介護支援システムの購入について

<第61回> ー平成28年12月 3日ー

- ・理事の選任
- ・定款変更
- ・評議員選任・解任委員会細則の決定
- ・平成28年度予算補正
- ・和進館児童ホーム公用車の購入について
- ・諸規定の改正

<第62回> ー平成29年 1月24日ー

- ・和進館保育園 屋上防水改修工事について、及び施工業者決定

<第63回> ー平成29年 3月31日ー

- ・平成29年度事業計画及び予算
- ・和進館保育園・給与規定の改正

### 2) 理事会

<第270回> ー平成28年 5月27日ー

- ・平成27年度事業報告及び決算

- ・理事長の選任
- ・諸規定の改正
- ・平田豊生苑 介護支援システムの購入について

<第271回> -平成28年12月 3日-

- ・評議員及び評議員選任・解任委員の選任
- ・定款変更
- ・評議員選任・解任委員会細則、及び評議員候補者の決定
- ・平成28年度予算補正
- ・和進館児童ホーム公用車の購入について
- ・諸規定の改正

<第272回> -平成29年 1月24日-

- ・和進館児童ホーム公用車の購入について
- ・和進館保育園 屋上防水改修工事について、及び施工業者決定

<第273回> -平成29年 3月31日-

- ・平成29年度事業計画及び予算
- ・和進館保育園・給与規定の改正

## 9. 監事監査

平成28年5月17日、平成27年度の法人の運営・経理状況の監事監査を実施しました。

## 10. 名古屋市・社会福祉法人指導監査

平成28年度、名古屋市監査室による監査の指摘事項及び改善状況は以下の通りです。

### 1) 和進奉仕会（法人）

平成28年度 監査なし

### 2) 和進館保育園 （監査実施日：平成28年12月13日）

改善を要する事項 (平成29年2月10日通知)	改善内容・改善計画
<p>&lt;和進館保育園&gt;</p> <p>1. 早朝保育時間帯について配置基準に基づく必要な人員を配置すること。</p> <p>2. 入所児童の健康診断について年2回確実に実施すること。</p>	<p>&lt;和進館保育園&gt;</p> <p>1. 保育時間中は常時2名の職員配置にしました。</p> <p>2. 平成29年度より確実に実施いたします。</p>

2) 和進館保育園 (続き)

改善を要する事項 (平成 29 年 2 月 10 日通知)	改善内容・改善計画
<p>3. 衛生管理者を選任の上、労働基準監督署に届け出ること。また定期健康診断結果報告書についても届け出ること。</p> <p>&lt;小規模保育事業『えがお』&gt;</p> <p>1. 保育時間中は常時2名以上の職員を配置すること。</p> <p>2. 児童の健康診断について年2回確実に実施すること。</p> <p>3. 会計責任者、出納職員の任命辞令を交付し、内部けん制体制を確立すること。</p>	<p>3. 別紙の通りに衛生管理者を選任し、平成29年3月に衛生管理者試験に受験できるよう準備を進めています。又ストレスチェック及び産業医の検討を進め、早急に体制の整備に努めていきます。</p> <p>&lt;小規模保育事業『えがお』&gt;</p> <p>1. 常時2名の職員を配置しました。</p> <p>2. 平成29年度より確実に実施いたします。</p> <p>3. 別紙の通り任命辞令を交付しました。</p>

3) 和進館児童ホーム (監査実施日 : 平成29年1月25日)

改善を要する事項 (平成 29 年 2 月 6 日通知)	改善内容・改善計画 (平成 29 年 2 月 24 日報告)
<p>1. 契約書の作成を省略できる場合でも、特に軽微なものを除き、請書等を徴すること。</p> <p>2. 朝食の検食を事前に行うこと。</p> <p>3. 居室の家具等の転倒防止策を講じること。(テレビ)</p>	<p>1. 指摘事項どおり、請書等の整備をします。</p> <p>2. 1月職員会議にて、全職員に朝食の検食を事前に行うことを周知し、翌日より改善した。</p> <p>3. 検査実施日当日に、あさがおの家のテレビについて、転倒防止策を講じた。</p>

4) 平田保育園 (監査実施日 : 平成28年11月28日)

改善を要する事項 (平成28年12月20日通知)	改善内容・改善計画
<p>1. 加熱調理食品(冷やして提供する副菜、おやつ)について中心温度を測定記録すること。</p>	<p>1. 冷やして提供する食品は調理後すぐに冷却し10℃以下で管理しています。その時の中心温度を計測し記録するようにします。記録表は現在使用している給食日誌検食簿にある中心温度の項目に記入するようにします。</p> <p>上記改善内容を平成29年1月より実施しています。</p>

5) 平田豊生苑 (監査実施日 : 平成28年6月7日)

改善を要する事項 (平成28年8月12日通知)	改善内容・改善計画
<p>&lt;介護老人福祉施設・ (介護予防)短期入所生活介護 共通&gt;</p> <p>1. 入所者に入浴の機会(週2回以上)を提供していることが分かる記録が確認できなかったため、記録を適切に残すこと。</p> <p>2. 事故発生防止の観点から、ヒヤリハット事例の報告を増やすこと。</p> <p>3. 誤飲・誤食・誤薬発生の原因を解明し、速やかに再発防止の対策を講じること。</p> <p>4. 入所者の処遇により事故が発生した場合は、速やかに介護保険課に報告すること。</p> <p>5. 高齢者虐待の防止のための研修を実施すること。</p> <p>&lt;介護老人福祉施設&gt;</p> <p>1. 個別機能訓練加算について、算定要件を満たさない月(H28年3月)について取下げること。</p>	<p>&lt;介護老人福祉施設・ (介護予防)短期入所生活介護 共通&gt;</p> <p>1. 入浴チェック表への記載を徹底する。</p> <p>2. ヒヤリハットと事故報告の基準を見直し、ヒヤリハット報告の増加を図る。</p> <p>3. 誤薬事例の検証を行い、誤薬防止の研修を行う。</p> <p>4. 事故報告の基準を見直し、受診に至らなかったケースも報告していく。</p> <p>5. 8月に研修を実施予定。また、全体会議の他、サービス担当者会議においても周知徹底を図る。</p> <p>&lt;介護老人福祉施設&gt;</p> <p>1. 7月10日に実施した家族会で指摘事項の説明をする。順次取下げを実施。</p>

5) 平田豊生苑 (続き)

<p>改善を要する事項 (平成 28 年 8 月 12 日通知)</p>	<p>改善内容・改善計画</p>
<p>2. 個別機能訓練加算について実施記録を充実させること。</p> <p>3. 初期加算の算定誤りについて取下げること。</p> <p>4. 看取り介護加算の算定にあたっては、医師が医学的見地にに基づき回復の見込みがないと診断した者であることを記録すること。</p> <p>5. 褥瘡のハイリスク者に対する予防計画書を作成すること。</p> <p>6. 褥瘡対策に関する職員継続教育を実施すること。</p> <p>7. 施設サービス計画書について、作成後速やかに同意を得ること。</p> <p><b>【処遇】</b></p> <p>1. 施設長は、入所者預り金の収支状況を定期的に点検すること。</p> <p><b>【運営】</b></p> <p>1. 職員の定期健康診断(一年以内ごとに一回、深夜業を含む業務に常時従事する職員は六月以内ごとに一回)を実施すること又は職員から提出を受けること。</p> <p>2. 36 協定の労働基準監督署への届出を遅延しないこと。</p> <p>3. 就業規則中再雇用に関する規定を修正すること。</p> <p>4. 機能訓練指導員の業務委託は認められないことに留意すること。</p>	<p>2. 実施記録の徹底を図る。</p> <p>3. 7月に取下げを実施。</p> <p>4. 医師と家族との看取りの面談時に対応の方針だけでなく医師の見解を記録する。</p> <p>5. 別紙の様式を参考に予防計画書を作成する。評価法は検討中。</p> <p>6. 10月に褥瘡研修を実施予定。また、個別の状態等に応じてサービス担当者会議等で対策の周知徹底を図る。</p> <p>7. 家族の来苑が調整できないケースは郵送で計画書を送付し同意を得るようにする。</p> <p><b>【処遇】</b></p> <p>1. 4月、7月、10月、1月に出納簿及び通帳の写しを家族に送付する際、施設長が収支状況を確認をする。</p> <p><b>【運営】</b></p> <p>1. 勤務表の中に予定を組み込む等、全員が受検できる体制を検討し実施する。</p> <p>2. 遅延がないよう注意し期日までに提出をする。</p> <p>3. 修正した規則を11月開催予定の理事会の承認後、労基署へ提出する。</p> <p>4. 業務委託を解約し、当該職員と個別に直接雇用契約を締結した。</p>

5) 平田豊生苑 (続き)

改善を要する事項 (平成 28 年 8 月 12 日通知)	改善内容・改善計画
<p><b>【経理】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉法人新会計基準に準拠した財務諸表、財産目録及び附属明細書を作成し、経理規程もその通り改正すること。</li> <li>2. 施設整備等補助金は国庫補助金等特別積立金に計上し、減価償却費に対応させ取り崩すこと。</li> <li>3. 退職給付引当資産及び退職給付引当金の計上と取崩しの処理を適正に行うこと。</li> <li>4. 賞与引当金を経理規程に従い適正に計上すること。</li> <li>5. 建物に係る減価償却費等を適正な基準で各サービス区分に配分すること。</li> <li>6. 契約については、経理規程に従い随意契約に該当する場合を除き競争入札により行うこと。</li> <li>7. 契約については、経理規程に定める契約書を省略できる場合を除き契約書を取り交わすこと。また、契約書の作成を省略できる場合でも、特に軽微なものを除き、請書等を徴すること。</li> <li>8. 共通経費の立替はサービス区分間貸付金(借入金)勘定で、入所者立替金は立替金勘定で処理すること。</li> </ol> <p>&lt; (介護予防) 短期入所生活介護 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機能訓練指導員の加算について、算定要件を満たさない月 (H28年3月) について取り下げること。</li> <li>2. 重要事項説明書に、緊急時等における対応方法、送迎について記載すること。</li> </ol>	<p><b>【経理】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉法人新会計基準に準拠した財務諸表、財産目録及び附属明細書を作成し、経理規定もその通り改正する。</li> <li>2. 仕分け時の科目誤り。国庫補助金等特別積立金科目の取扱いに注意し原価償却費と必ず合致させる。</li> <li>3. 退職給付引当金の計上と取崩し、入退職した都度行う。</li> <li>4. 賞与引当金を経理規定に従い計上厳守する。</li> <li>5. 各サービス区分で適正な按分比率で計上する。</li> <li>6. 経理規定に従い実施する。</li> <li>7. 経理規定に従い実施する。</li> <li>8. 立替について、共通経費はサービス区分間貸付金(借入金)勘定で、入所者立替金は立替金勘定で処理する。</li> </ol> <p>&lt; (介護予防) 短期入所生活介護 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 8月に取下げを実施。</li> <li>2. 重要事項説明書に該当項目を記載する。</li> </ol>

5) 平田豊生苑（続き）

改善を要する事項 (平成 28 年 8 月 12 日通知)	改善内容・改善計画
<p>&lt;デイサービスセンター平田豊生苑&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 勤務表については、兼務関係を明確にしたうえで職種ごとに従事した勤務実績を入れ、人員配置状況が確認できるものとする。</li> <li>2. 従業者との雇用関係が明確にわかる書類を、事業所に備えておくこと。</li> <li>3. 研修の機会の確保に努めること。</li> <li>4. 機能訓練指導員など、直接処遇を行う者については業務委託は認められないことに留意すること。</li> <li>5. 避難訓練を実施した際は、記録を残すこと。</li> <li>6. 苦情、事故及びヒヤリハット事例について明確に分類すること。また、事故に類するものがヒヤリハット事例とされていたことから、その判断基準について整理し従業者に周知すること。</li> <li>7. 重要事項説明書に、通常の事業の実施地域について記載すること。また、その地域については、範囲を特定できるものとする。</li> <li>8. 個別機能訓練加算Ⅱの算定に係る計画については、生活機能の維持・向上に関する目標を設定することとし、また訓練内容については具体的に掲げること。</li> </ol>	<p>&lt;デイサービス平田豊生苑&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成 28 年 7 月の勤務表より生活相談員、看護師が確認できるよう変更。</li> <li>2. 従業者との雇用関係がわかる書類の保管・整理の方法を検討し事業所に備える。</li> <li>3. 今後は研修参加に努める。</li> <li>4. 業務を「委託」ではなく豊生苑の指揮命令の下「契約」に変更し契約書を交わす。</li> <li>5. 今後は実施した際、記録に残す。</li> <li>6. 苦情、事故及びヒヤリハット事例について明確に分類。従業者にも周知を徹底。</li> <li>7. 重要事項説明書及び運営規定に通常の事業の実施地域について記載。また、その地域については、町名で記載。</li> <li>8. 個別機能訓練計画書を新たにしたりうえで長期目標、短期目標、プログラム内容を具体的に記入するように機能訓練士に周知を徹底。</li> </ol>

5) 平田豊生苑 (続き)

<p>改善を要する事項 (平成 28 年 8 月 12 日通知)</p>	<p>改善内容・改善計画</p>
<p>9. 個別機能訓練加算Ⅱの算定にあたっては、3月ごとに利用者の居宅を訪問したうえで、利用者の自宅での生活状況（起居動作、ADL、IADL）を確認したうえで、計画を作成しなければならないことから要件を満たしていないものについては自主点検のうえ報告を行うこと。</p> <p>10. 中重度者ケア体制加算の算定にあたっては、基準に規定する看護及び介護職員の員数に加え、当該職員を常勤換算方法で2以上確保（加算の算定要件である専従の看護師は除くこと。）する必要があることから、算定月以降における実績（利用者数に対し必要な人員配置と実際の勤務実績）を整理し、必要に応じて自主点検のうえ報告を行うこと。</p> <p>&lt;居宅支援事業所&gt;</p> <p>1. 居宅サービス計画の作成にあたっては、適切な目標期間を具体的に設定すること。</p> <p>2. 生活全般の解決すべき課題に沿った長期目標及び短期目標を具体的に設定すること。</p> <p>3. 起床から就寝までの1日の生活リズムについて居宅サービス計画に具体的に記載すること。</p> <p>4. 介護支援専門員の居宅サービス計画作成担当者が標準担当件数内となるよう努めること。</p> <p>5. 従業者との雇用関係が明確にわかる書類を事業所に備えておくこと。</p>	<p>9. 利用者の居宅を訪問したうえで、利用者の自宅での生活状況（起居動作、ADL、IADL）居宅訪問チェックシートを用い、確認。また、平成27年 4月から平成28年4月の13か月分については自主点検。</p> <p>10. 中重度者ケア体制加算の算定書を作成。算定月以降における実績2以上を確認。</p> <p>&lt;居宅支援事業所&gt;</p> <p>1. 別紙居宅サービス計画書を添付。</p> <p>2. 別紙居宅サービス計画書を添付。</p> <p>3. 別紙居宅サービス計画書を添付。</p> <p>4. 平成28年8月1日付けで非常勤介護支援専門員を配置。</p> <p>5. 従業者との雇用関係がわかる書類の保管・整理の方法を検討し事業所に備える。</p>

6) 守山豊生苑

平成28年度 監査なし

1.1. 中・長期計画及び新規事業

市営住宅平田荘におけるシルバーハウジング生活援助員派遣事業を、特別養護老人ホーム平田豊生苑にて受託し、平成28年11月より事業開始しました。

1.2. その他

特になし。

平成28年度 各施設の事業報告は、次の通りです。



## 平成28年度 事業報告

保育所 和進館保育園  
地域子育て支援センター事業 「ちびっこひろば」  
小規模保育事業 「えがお」  
名古屋のびのび子育てサポート事務局支部

近年、子どもたちを取り巻く状況が大きく変化しています。深刻化する待機児問題、子どもの貧困・児童虐待・子育てに不安や困難を抱える家庭の増加など、子どもやその保護者を取り巻く「福祉」的課題も山積しています。

政府の「子ども・子育て支援新制度」の具体的内容が詳細に議論され、平成27年4月から「子ども・子育て新制度」がスタートしました。新制度では、質の高い幼児期の教育・保育の提供や幼稚園・保育園と小学校の連携・接続の大切さなど幼児教育に重点を置き、次世代を担う子どもたちが健やかに育成されるよう事業を推進していくとしています。子育ての環境整備において、待機児童解消加速化プランの前倒しにより順調に進んでいます。しかし、依然として待機児童は増え続ける中、保育士確保も大変な状況にあり、保育士の処遇改善を行うとしています。

名古屋市では、平成27年度から「子どもに関する総合的な計画」の策定に取り組み、「子ども・子育て支援新制度」への対応、児童虐待の予防対策、在宅の子育て家庭の支援に加え、貧困状態にある子ども・若者の支援を盛り込むなど、「子どもの健やかな育ちと若者の自立を社会全体が支えるまち“なごや”」を目指すとしています。

「子ども・子育て支援制度」がスタートして2年が経過することになりますが、当保育園では従前通りの保育所として運営を展開してきました。こうした状況の下、保護者への支援、地域社会との連携など、保育所に期待される役割が深化拡大している中で、保育所の役割を再確認し、更に保育の充実を図り、地域の中で気軽に利用できる「子育て支援センター」では、子育ての悩み相談など、個別な問題にも細かく柔軟に対応できるよう機能強化を図りました。又、月1～2回の子育てサロン、母親のリフレッシュの援助や講演会などを実施しました。

保育運営では法人の、「和進・奉仕・豊生」の理念に基づき、保育内容の充実や専門職としての職員の意識・資質の向上、子育て相談・食育相談に応えるため外部講師によるケース検討会議、園外研修・法人研修等積極的に参加し保育技術の向上に努めました。

日々の保育も丁寧に進め、子どもの成長を共に喜び共感するなどコミュニケーションを密にとり、園児及び保護者との信頼関係もより高まり、地域から良い評価をいただいている保育園になっていることを実感しています。

具体的活動状況は、以下の通りです。

## 1. 保育について

子どもの人権や主体性を尊重し、最善の幸福のために、保護者や地域社会と力を合わせて家族援助を行います。その為に職員は愛情を持って接し、子どもの最善の利益のために知識と技術の向上に努めました。

### 1) 保育目標・・・心もからだもたくましい子

- ・思いやりのある子
- ・人のはなしがきける子
- ・のびのびあそべる子
- ・しぜんにふれ感動する子

明るい笑顔と挨拶、助け合う心、保育の向上を目指す研鑽を職員一同心掛けました。

### 2) 保育方針・・・保育を必要としている子どもたちが、豊かな人間性（心情、意欲、態度など）を身につけるための基礎を育てました。

- ・豊かな人間性を育てるために縦割りでの交流を取り入れました。
- ・子どもの体を柔軟にするために遊びやリズム遊びを多く取り入れました。

## 2. 一般保育

- ・通常の開所時間 7:00 ～ 19:00 の12時間
- ・延長保育（早朝） 7:00 ～ 8:00
- ・普通保育 9:00 ～ 15:30
- ・延長保育（夕） 18:00 ～ 19:00

## 3. 保育特別事業

### 1) 一時保育事業（別表1）

保護者の勤労形態・病気・入院又はリフレッシュ目的等により、一時的に保育が必要となる児童の受入れをしました。非定型739名、緊急72名、リフレッシュ158名、計969名を受け入れました。実施保育所が1か所増えたものの、利用希望者は相変わらず多く、ニーズにこたえるのが困難な状況となっています。

### 2) 延長保育事業（別表2）

朝夕の時間を延長して保育ニーズに応え、年間3,448名を受け入れました。

- ・延長保育時間 7:00～9:00（早朝） 18:00～19:00（夕）
- 利用者の増加と共に、保育の充実を図りました。

3) 産休・育休明け入所予約事業

出産後の保育所申込み制に加え、産休明け、育児休業明け入所の予約が可能になり保護者の職場復帰への安定を図る事業。

限度枠6名のところ、平成28年度も既に6名の入所が決まっていたため、この事業による看護師1名の採用が認められました。

4) 障がい児保育事業

障がい児保育として今年度、軽度5名、中度5名の障がい児保育を実施しました。熱意のある保育に努めた結果、利用希望者が多くなっています。

5) 世代間交流事業

乳児は当法人の特別養護老人ホーム『守山豊生苑』を訪問し、お年寄りの方と交流を始めています。今後はさらに回数を増やしていきます。

6) 定員の超過受け入れ

入所定員の弾力化により待機児解消を図るため、平成28年4月の時点で14名の超過受け入れを行いました。

7) ボランティア活動の受け入れ

次世代職員の育成の一環とし、大学生のボランティア活動を積極的に受け入れました。児童福祉施設（保育園）での保育業務を経験し、将来、より質の高い職員を育成するためのインターンシップと位置付け、年間101名の受け入れを行いました。

4. 保 育 行 事

1) 春の親子遠足（幼児）	1 1) 生活発表会
2) 夏祭り	1 2) 保育参観（年2回）
3) 七夕	1 3) その他
4) 運動会	弁当の日 幼児 年3回
5) お泊り保育（年長）	乳児 年1回
6) 秋の遠足（幼児）	絵画教室 月2回（幼児）
7) 秋祭り	体育指導 月4回（幼児）
8) クリスマス会	乾布摩擦 7～9月を除く毎日（幼児）
9) もちつき	誕生会、身体測定、避難訓練を毎月
10) 節分	平田保育園との交流

以上の行事を実施しました。

## 5. その他

- ・ 幼児棟屋上防水工事
- ・ 幼児棟屋上 タッチマット取替工事
- ・ 乳児棟トイレ等改修工事
- ・ 幼児棟ホール ステージ幕取替工事
- ・ 通用門扉取替工事
- ・ 電解水生成装置の設置

以上の施設整備を実施しました。

平成28年度 一時保育事業 実績確認シート (別表1)  
 利用区別実績

		A・B階層			C階層			C階層(4以上:IBD階層)			合計			総計
		6H	8H	10H	6H	8H	10H	6H	8H	10H	6H	8H	10H	
非 定 型	4月	0	10	0	0	0	0	44	9	0	44	19	0	63
	5月	0	6	0	0	0	0	38	10	0	38	16	0	54
	6月	0	11	0	0	0	0	48	11	0	48	22	0	70
	7月	0	16	0	0	0	0	43	11	0	43	27	0	70
	8月	0	11	0	0	0	0	39	12	0	39	23	0	62
	9月	0	11	0	0	0	0	50	10	0	50	21	0	71
	10月	5	7	9	0	0	0	41	11	0	46	18	9	73
	11月	0	12	9	0	0	0	43	11	0	43	23	9	75
	12月	0	10	8	0	0	0	38	10	0	38	20	8	66
	1月	0	0	8	0	0	0	39	17	0	39	17	8	64
	2月	0	0	10	0	0	0	43	18	0	43	18	10	71
	3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	5	94	44	0	0	0	466	130	0	471	224	44	739

		A・B階層			C階層			C階層(4以上:IBD階層)			合計			総計
		6H	8H	10H	6H	8H	10H	6H	8H	10H	6H	8H	10H	
緊 急	4月	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11	0	0	11
	5月	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4
	6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	9月	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	7
	10月	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	9
	11月	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	0	10
	12月	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0	0	14
	1月	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0	14
	2月	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2
	3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	56	16	0	56	16	0	72

		A・B階層			C階層			D階層			合計			総計
		6H	8H	10H	6H	8H	10H	6H	8H	10H	6H	8H	10H	
リ フ レ ッ シ ュ	4月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	5月	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0	0	14
	6月	2	0	0	0	0	0	15	1	0	17	1	0	18
	7月	0	0	0	0	0	0	11	3	0	11	3	0	14
	8月	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11	0	0	11
	9月	0	0	0	0	0	0	14	0	0	14	0	0	14
	10月	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20	0	0	20
	11月	2	0	0	0	0	0	21	1	0	23	1	0	24
	12月	0	0	0	0	0	0	12	1	0	12	1	0	13
	1月	1	0	0	0	0	0	14	0	0	15	0	0	15
	2月	2	0	0	0	0	0	11	1	0	13	1	0	14
	3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	7	0	0	0	0	0	144	7	0	151	7	0	158

利用料収入	年間利用実績												
1,044,000	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	75	72	88	84	74	92	102	109	93	93	87	0	969

別表2 延長保育事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
人数	279	283	333	304	254	313	275
日数	19	19	22	20	22	20	20
平均	15	15	15	15	12	16	14
	11月	12月	1月	2月	3月		合計
人数	285	237	262	306	317		3,448
日数	20	19	19	20	22		242
平均	14	12	14	15	14		14

平成28年度末 職員数の内訳

職員数	職種別	施設長	保育士	栄養士	調理員	看護師	小計	臨時職員	保育	掃除	調理	事務	小計	合計
	有資格	1	26	2	1	1	31		25	0	2	0	27	58

平成28年度 入所状況

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
月別 在籍 状況	4月	10	23	36	54	52	56	231
	5月	11	23	36	53	53	56	232
	6月	14	23	36	53	52	56	234
	7月	15	23	36	52	52	56	234
	8月	15	23	35	52	52	56	233
	9月	15	23	36	53	52	56	235
	10月	15	23	36	53	52	56	235
	11月	15	23	35	53	52	56	234
	12月	15	23	35	53	52	56	234
	1月	15	23	36	53	52	56	235
	2月	15	23	36	53	51	56	234
	3月	16	23	36	53	51	56	235
	計	171	276	429	635	623	672	2,806
	途中入所	7	0	2	1	1	0	11
退園	1	0	2	2	2	0	7	
クラス 別 延 出 席 数	4月	195	392	681	1,026	988	1,135	4,417
	5月	178	414	658	970	980	1,031	4,231
	6月	271	486	763	1,147	1,135	1,189	4,991
	7月	255	413	627	910	956	1,126	4,287
	8月	256	398	594	852	870	975	3,945
	9月	260	451	684	1,011	1,042	1,098	4,546
	10月	277	467	753	1,080	1,104	1,158	4,839
	11月	251	485	671	960	1,006	1,066	4,439
	12月	219	410	606	834	853	942	3,864
	1月	240	392	598	867	920	977	3,994
	2月	276	413	713	1,061	1,041	1,143	4,647
	3月	292	494	705	1,030	1,064	1,120	4,705
	計	2,970	5,212	8,053	11,748	11,959	12,960	52,905

## 地域子育て支援センター事業 「ちびっこひろば」

毎週土曜日、ホールでの「ちびっこひろば」では、月平均16組前後の利用があり好評でした。ふれあいあそび・絵本の読み聞かせ・プールあそび・園庭開放・誕生会・子育て相談の事業を実施しました。平日（月・水・木・金）の4日間、園児が部屋にいる時間帯の11時～12時までを園庭開放にしたところ予想以上に好評で、「安心してあそべます。」と利用者も多くなり、平均20組前後の方がみえ、子どもたちものびのび遊んでいます。又、月1～2回のサロンを企画し、絵本の読み聞かせ・親子での運動あそび・手作りおもちゃ・わらべうたあそび・手作りおやつの講習会や講演会・園外への散歩等も取り入れ、好評の中、事業が実施できました。

月	日にち	内 容		時 間
4	2日	お休み	入園式のため	
月	9日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	16日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	23日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	30日	お休み		
5	7日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	14日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	21日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	28日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
6	4日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	11日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	18日	七夕飾り製作	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	25日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
7	2日	夏祭り	園庭にて	午後4時～6時
	9日	楽しい集い	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時
	16日	読み聞かせ	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時
	23日	お休み	お泊り保育の為	
	30日	誕生会	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時
8	6日	楽しい集い	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時
	13日	お盆休み		
	20日	読み聞かせ	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時
	27日	誕生会	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時

(続き)

月	日にち	内 容		時 間
9月	3日	楽しい集い	水遊び・遊戯室開放	午後1時～3時
	10日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	17日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	28日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
10月	1日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	8日	運動会	園庭にて	午前9時～12時
	15日	運動会ごっこ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	22日	お休み		
	29日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
11月	5日	秋祭り	園庭にて	午前10時～午後2時
	13日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	20日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	27日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
12月	3日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	10日	クリスマス製作	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	17日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	24日	クリスマス会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	31日	年末休み		
1月	7日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	14日	楽しい集い	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	21日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	28日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
2月	4日	お休み	生活発表会の為	
	11日	お休み	建国記念日の為	
	18日	ひな飾り製作	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	25日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
3月	4日	読み聞かせ	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	11日	誕生会	園庭・遊戯室開放	午後1時～3時
	18日	お休み	卒園式の為	
	25日	お休み	新学期の準備の為	

## 小規模保育事業 “えがお”

待機児童解消の為、名古屋市から委託を受け、平成22年度10月より実施。保育所近隣の賃貸アパートを借り3歳未満児10名の定員で保育を行っています。

保育時間 7時30分～18時30分

児童の受託状況（毎月1日現在の受託児童数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
1歳	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
2歳	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120

平成28年度末 職員数の内訳

職員数	職種別	保育士	臨時職員	保育士	合計
	有資格	2		3	5

## 名古屋のびのび子育てサポート事務局支部

子育ての手助けをして欲しい人（依頼者）に子育てのお手伝いをしたい人（提供者）が地域の中でお互いに助け合う会員組織であり、利用者の依頼への応答、活動時の支援等を行う事業を名古屋市から委託を受け平成20年10月より開始しています。平日9時～19時迄、土曜日9時～15時迄開設しています。業務としては会員の募集や、入会説明・面接、登録、講習会開催、援助活動の調整、会員交流会、会報誌作成・発送、本部報告等を3名の職員が交代で対応しています。電話での対応が多いので、丁寧な対応を心掛けています。

### 1) 支部管内会員数（平成28年度）

	依頼会員	両方会員	提供会員	計
守山区	520名	56名	111名	687名
市外	2名			2名
合計	522名	56名	111名	689名

（前年度より32名増）

### 2) 活動件数（平成28年4月～平成29年3月）

	活動件数
守山区	3,037件

（前年度より418件増）

### 3) 会員交流会

- (1) 日時 平成28年10月31日（月）9時30分～11時30分  
 (2) 内容 スッキリ暮らそう片づけ講座・茶話会  
 (3) 参加人数 28名（うち提供会員13名・両方会員1名・依頼会員5名、子ども7名・非会員2人）

### 4) 提供会員講習会

- 日時・登録者 平成28年8月24日(水) 提供会員2名  
 平成28年8月25日(木) 両方会員1名  
 平成28年10月3日(月) 両方会員1人・提供会員2名  
 平成29年1月30日(月) 両方会員1名・提供会員1名  
 平成29年2月26日(日) 両方会員1名・提供会員1名  
 平成29年3月10日(金) 提供会員1名
- 内 容 提供・両方会員登録の為の講習会

5) 援助内容別活動件数

内容	利用件数
保育施設（保育所・幼稚園等）の登園前の預かり	190
保育施設（保育所・幼稚園等）への送り	209
保育施設（保育所・幼稚園等）への迎え	300
保育施設（保育所・幼稚園等）の降園後の預かり	349
学校の放課後の預かり	18
放課後児童クラブ・トワイライト等への送迎	724
放課後児童クラブ・トワイライト等終了後の預かり	467
子どもの病気回復期の預かり	1
子どもの習い事等の場合の援助（送迎を含む）	671
保育施設・学校等が休みの時の預かり	13
保育施設入園前の預かり	0
保護者等の短時間・臨時的就労、求職活動中の場合の預かり	21
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子に関わる用事の場合の預かり	22
保護者等の買い物等外出の場合の預かり	11
保護者等の病気や通院の場合の預かり	3
保護者等のリフレッシュのための預かり	29
のびのび子育てサポート事業のお試しの預かり	5
多胎、兄弟、姉妹等の援助による依頼会員宅での援助	1
上記以外の理由による依頼会員宅での預かり	3
その他（上記以外）	0
合計	3,037

## 平成28年度 事業報告

### 和進館児童ホーム

平成27年度に児童養護施設職員配置基準が見直され、従来と比較し職員一人あたりの子どもへの支援の負担は軽減されつつあります。子どもと職員との関係性では、本年度も概ね落ち着いた環境の中、個別支援に重点を置き子ども一人ひとりのニーズに合った関わりを持つことができました。より適正な職員配置と、職員の経験則によるスキルアップが好循環をもたらさせています。

地域社会における施設機能のあり方や、子どもの認識も変化してきています。垣根の低い施設運営が徐々に実を結び、年間を通じ多くの方々に施設を訪ねて頂きました。また、子どもは地域行事（スポーツ活動・清掃）へ積極的に参加することにより、地域の子どものように認知されるようになっていきます。このような地域住民の方々との接点が、ゆくゆくは児童福祉施設としての『地域子育て支援』に繋がっていくものと思われまます。

一方で、子どもの生活環境の側面で課題も見て取れました。年間を通じ定員外での委託一時保護児童が在籍することとなり、措置児童との関係性において葛藤しました。児童福祉施設が多機能化を求められる昨今、あらゆる環境下にある子どもへの支援に対して、施設設備・人員配置を模索していかなくてはなりません。

子どもへの支援に対しては最善の方法を見出しつつ、目下の課題に直面した一年でした。

具体的活動状況は、下記の通りです。

#### 1. 事業報告

##### 1) 自立支援サービスプログラムの実施

###### (1) インケアにおける自立支援活動

###### ① 幼児の養育

幼児・小学生ユニット「ひまわりの家」に職員1名加配したことで、担当を受け持つ子どもの人数が減り、従来よりも個別かつ丁寧な養育を実現できました。また、食事場面等で必要な職員数を配置することで、子どもの安定に繋がるとともに職員がゆとりを持って子どもの養育にあたることができました。

###### ② 「公文式学習」の継続

これまで公文式学習サポーターの協力を得て学習支援を実施してきましたが、年度途中からは職員主導の学習体制に切り替えました。職員が子ども個々の学力把握をし、必要な基礎学力を身に付けることを目標に学習支援に努めました。

### ③中高生の学習支援

サポーター大学生の協力を得て、中学生にはマンツーマン対応、高校生には必要に応じた学習機会を提供することで、個々のレベルに沿った学習に繋げることができました。また、中学生の希望者には学習塾を利用することで、進学に向けた意識を高めることができました。

### ④社会体験、家庭生活体験、国際交流

生活の場から離れた活動は子どもの興味や発見を引き出し、体験を積み重ねることで自信になり、自立への促進を図ることができました。また、地域の一員として清掃活動に参加したり、地域の子どもと共にチームを構成してディスクドッジ大会に出場したりしました。施設内の生活で完結するのではなく、施設外での経験を積むことで社会性を育むことができました。

守山豊生苑の住人さんとの交流は進んでいない現状があり、今後もどのような形で交流できるのか模索していきたい。

#### a. 施設行事の実施

季節行事としてプール外出やクリスマス会、スキー旅行を実施。盆と正月には、家庭へ帰省できない子どもを対象に職員との旅行（8月…福井県芝政ワールド、1月…三重県長島スパワールド）を実施しました。

日常生活とは異なる環境において、施設内では見出せない時間を共有し、子どもと職員の関係性を深めることができました。また、マナーを伝える機会にもなり、子どもの気付きに繋がりました。

#### b. ダンス教室の実施

職員の指導の下、子どもがリズムに乗って全身運動や表現力を身に付け、チームとしての一体感を学ぶ機会となりました。フェスティバルやKIPダンス発表会にて、観客の前でダンスを披露することにより、自己肯定感を高めることができました。

#### c. 国際交流

定期的にNIS（名古屋国際学園）の学生が来館し、幼児を中心に余暇活動を実施。遊びを通じて自然と英語でのコミュニケーションを交わすことができました。また、ACCJ（在日米国商工会議所）主催のクリスマス会招待を受け、普段味わうことのない食事や遊びを通じて、国際感覚を養う機会となりました。

#### d. 食育の実施

職員による調理が日常になったことで、子どもが食材に触れる機会も多くなり、食材の形や名前を自然と理解できるようになりました。また職員調理の手伝いや様子を見ることにより、子どもが自発的に調理する場面も多くなりました。

子どもの誕生日には、誕生日を迎えた子どものリクエストを聞き、食事会や外食を実施しました。また、ホールケーキでお祝いすることで『個』を大切にしたい家庭に近い雰囲気でお祝いをしました。

「ひまわりの家」では調理体験やおやつ作りを実施しました。食材の買い物から一緒に取り組むことで、低年齢から食材に触れる機会を作り、食事に対する意識が

高まりました。

#### ⑤施設機能強化推進事業

##### a. 和進ふれあいフェスティバルの実施…11月13日

併設の守山豊生苑と共同して実施し、子どもとサポーターが協力し合いながら運営することができました。子どもの友人や地域の方々、卒園生が集う場ともなっており、参加者数は379人（関係者を含む）に上りました。

##### b. サマーキャンプの実施…8月9日、10日

小学生以上を対象にサポーター大学生と職員が引率し、石水溪野外活動センター（三重県亀山市）でキャンプを実施。自然の中での調理やトーチトワリング等の経験は、協力することで成し遂げる充実感を学ぶ機会となりました。

##### c. 施設内研修の実施…2月20日、3月3日、4日、5日

子どもや職員を対象にCAPプログラムを実施。プログラムを通じ、施設での生活において「安心」「自信」「自由」があることを学び、それらが保障されるものと認識する場となりました。職員はプログラムを通じて、子どもの権利について再確認し、権利侵害防止への意識を高めることになりました。

##### d. 総合防災対策強化事業の実施

震災時に備え、耐震ストッパー等の転倒防止策を講じました。また災害避難時に利用できる荷運び用ワゴンや備蓄用乾電池、工具等を整備して対応の強化を図りました。

##### e. ホームサポーター交流会

例年実施しているが、今年度については未実施。今後も必要に応じてサポーター同士の意見交換や悩み相談等の場を設定したいと思います。

#### ⑥施設内心理療法の平成28年度実績

##### ・心理療法対象児童数…15人

幼児期・学童期の子どもの発達支援、虐待経験による心の傷へのケアのため、心理学的観点から助言を行い、職員と子どもとの関わりに生かすことを目指しました。また、生活場面では十分なケアが足りない子どもに対して個別に心理療法を実施し、人との関わりに安心感を持てるよう、安定した二者関係の場を提供しました。

内容	心理療法	心理検査	生活場面 面接	施設職員への 助言及び指導	各種会議への 出席	計
回数	465	17	4	48	44	578

#### ⑦家庭支援専門相談の充実

アドミッションケア（施設入所する際に必要な援助）を実施するとともに、入所後の保護者との面会・外出・外泊の調整、児童相談所等の関係機関や職員との連携を図りました。平成28年度は7名の子どもが家庭復帰しました。

## (2) リービングケアにおける自立支援活動

### ① 高校生のアルバイトの促進

高校生・専門学生5名がアルバイトを経験。自立に向けた社会経験を積むことができ、将来を見据えた貯蓄にも繋がりました。中にはアルバイトが継続できず、短期間で終えてしまう子どももいましたが、働くことの難しさを知る機会になり、社会自立に向けた具体的なイメージを掴むことができました。

### ② 社会資源の活用

学校による就職支援で、社会自立した子どもが1名となりました。措置延長で専門学校に通っていた子どもは「ヤングジョブ愛知」を活用し、就職斡旋を受けました。今後も社会資源を活用しながら、個々のニーズに沿った就職支援をしていきます。

### ③ 措置延長の活用

専門学校に通うため、20歳になるまで措置延長制度を活用して施設で生活した子どもが1名となりました。社会自立に不安を感じる子どもへ継続的な支援をし、安定した生活の中で社会性を身に付けることができました。

## (3) アフターケアにおける自立支援活動

退所した子どもの家庭訪問を実施したり、電話または直接会って相談に乗ったりしました。アフターケアは期限を定めることなく、子どもが施設職員を頼ってくる場合には柔軟に対応しました。

## 2) 子育て支援事業

### (1) ショートステイの実施

可能な範囲で受け入れを行い、地域の子育て支援に寄与しました。28年度は3名の子どもを延べ21日間、受け入れました。

① 5歳男児	4/24～	4/30	7日間	疾病
② 5歳男児、4歳男児(きょうだい)	6/14～	6/16	3日間	出張
	8/28～	8/31	4日間	出張

### (2) 児童家庭支援室の活用

各種会議や児童会、子どもの公文式学習やサポーター活動の場として活用しました。また、入所やショートステイ受け入れ時の対応の場としても利用しました。

### (3) ファミリールーム『すずらん』(親子生活訓練室)の活用

独立した家庭に近い雰囲気の空間を保障し、親子での調理体験や外泊体験の場として提供できました。28年度は2ケース3名の子どもが4日間利用しました。

- ・外泊体験 4月…2名(きょうだい)
- ・面会及び調理体験 1月…1名

## 3) 地域交流スペースの活用

### (1) 地域団体等の利用

- ① 4/8 …10名 町内会

- ② 4 / 12 … 3名 甘軒家女性会
- ③ 9 / 30 … 10名 町内会
- ④ 10 / 9 … 50名 町内会
- ⑤ 1 / 30 … 9名 町内会
- ⑥ 2 / 3 … 30名 寿クラブ

(2) 研修・施設見学としての利用

- ・ 5団体 8回…延べ約240名

4) フィランソロピー（企業の社会貢献活動）の受け入れ

企業や各種団体の支援を得て子どもの夢を育むことができました。また、施設内のサポート活動を通じて、児童養護施設への理解を深めました。今後も、社会に児童養護施設への理解を深めることに努め、積極的に受け入れます。

- ①特定非営利活動法人 夢シート …プロ野球観戦招待
- ②名古屋住友クラブ …プロ野球観戦招待
- ③名古屋東・城東レオクラブ …輝け！わくわくカップ、ふれあい交流会
- ④タキヒヨー株式会社 …ふれあい交流会、ふれあいイベント
- ⑤アメイジア株式会社 …ディズニー・オン・アイス招待
- ⑥トヨタ部品愛知共販労働組合 …つくしの箱（8月モリコロパーク、  
3月南知多ビーチランド）
- ⑦名古屋オーシャンズ …フットサル観戦招待
- ⑧連合愛知 …クラシックコンサート招待
- ⑨中部善意銀行 …ユニバーサル・スタジオ・ジャパン招待、  
サンタクロース訪問
- ⑩プルデンシャル生命保険株式会社 …ふれあい交流
- ⑪ACCJ（在日米国商工会議所） …クリスマス会（シューターズ）
- ⑫株式会社名鉄観光ホテル …テーブルマナー教室
- ⑬中日新聞社会事業団 …サーカス（トーテム）招待
- ⑭熱田神宮宮丁 …七五三詣招待
- ⑮株式会社電通中部支社 …サッカー観戦招待
- ⑯プロレスリング チームでら …プロレス観戦招待
- ⑰豊通ファイティングイーグルス名古屋…バスケットボール観戦招待
- ⑱LEGOLANDO®Japan …レゴランド招待
- ⑲グループエスカラデー …餅つき招待
- ⑳株式会社ライフフォースサポート …ホームサポート活動
- ㉑株式会社 VISION …ホームサポート活動

5) 次世代職員の育成

- ・ 社会福祉士援助技術現場実習 … 3校 5名 延べ113日間

- ・保育士実習 … 18校 90名 延べ832日間
- ・教員免許特例法による介護等体験 … 1校 10名 延べ 50日間

#### 6) 各委員会の設置

「ルール検討委員会」では、施設内での生活ルールを整備し、子どもに集団生活での秩序を教え、社会生活においてもルールは守るべきだと伝える機会となりました。また、委員会が中心となって『和進館児童ホーム倫理綱領』の見直しを進めました。

「性教育委員会」では、施設における性教育のあり方を検証し、どのように実践すべきか検討する場となりました。

#### 7) 第三者評価受審

愛知県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価事業所による第三者評価を受審。結果は全国社会福祉協議会ホームページに掲載されております。

#### 8) 防犯カメラの設置

補助金助成を受け、施設の外回りに防犯カメラ6台を設置、外部からの侵入者等から子どもの安全を図る設備を導入しました。

### 2. 在籍児童の状況

#### 1) 定員 45名

#### 2) 年度当初在籍児童数 45名 (平成28年4月1日付)

	未就学児	小学生	中学生	高校生	その他	計
男子	8	11	5	2	1	27
女子	2	7	6	3	0	18
合計	10	18	11	5	1	45

#### 3) 新規入所児童数 6名

- ・乳児院より措置変更 4名
- ・家庭より措置開始 2名

#### 4) 退所児童数 9名

- ・家庭引き取り 7名
- ・自立退所 2名

5) 委託一時保護・定員外委託一時保護受け入れ

子ども7名、延べ481日間の受け入れ

① 3歳男児	6/22～	7/22	31日間
② 5歳女児、3歳女児（きょうだい）	7/29～	8/19	44日間
③ 6歳女児、3歳男児（きょうだい）	9/5～	9/20	32日間
④ 5歳女児、4歳男児（きょうだい）	9/26～	3/31	374日間

6) 年度末在籍児童数 40名（平成29年3月31日付）

3. 職員の状況（平成28年4月1日付）

	施設長	事務員	児童 指導員	保育士	栄養士	調理員	家庭支援 専門相談員	心理 療法士	計
常勤	1	1	10	12	1	3	1	1	30
非常勤				1		1			2
合計	1	1	10	13	1	4	1	1	32

※児童措置理由（H28年4月1日付）

		幼児	小学生	中学生	高校生等	計	
家族の 状態	父母不明 遺棄・蒸発			1	2	3	
	父 家出						
	母 家出						
	離婚父子						
	離婚母子						
	母 未婚				1	1	
	受 刑						
	虐 待	9	12	8	1	30	
	経済的困難		1			1	
	その他	1	3	1		5	
	計	10	16	10	4	40	
家族の 死亡	父母死亡						
	父 死亡						
	母 死亡						
	計						
家族の 疾病	父	精神病					
		その他					
	母	精神病			1	1	2
		出 産		1			1
		その他		1			1
	その他 家族の疾病						
	計		0	2	1	1	4
その他 児童の状態				1		1	
合 計		10	18	12	5	45	

## 平成28年度 事業報告

保育所 平田保育園  
地域子育て支援拠点事業 平田保育園  
一時預かり事業 平田保育園

子ども子育て支援制度が施行され2年が経過しました。都市部における待機児童解消は未だに解消につながったとは言えない状況です。一方過疎地や人口減少地域では、年々園児数は減少し保育園の運営も厳しさを増し、それ以上に子ども同士のふれあいが少なくなり健全な成長の妨げになることが、気がかりだといわれています

そのような状況下で人口減少地域では、園児確保のために生き残り競争が始まろうとしています。平田保育園の近隣の保育園では今年、学年によっては定員割れの状況もあるとこのことを鑑みると、決して対岸の火事ではなく、名古屋市の外れに位置する平田保育園でも同様のことが想定されることをこの一年、痛感しました。

すべての子どもに「良質で安全な保育」を提供するという新制度の理念に視点を置き、生き残り競争の時代に入っても理念を継続していく保育園を目標としています。「質の高い保育」として、昨年以上に今年度は研修に力をいれました。全職員が外部研修に参加できるように配慮しました。又内部研修では、和進館保育園との研修を学年別に行い、より現場の保育に近い視点で学ぶことができ、翌日からの保育に役立てることができました。

平田保育園として力を入れている「体づくり」については、見通しを持った計画案を作成する為、体づくり実行委員会を立ち上げ、スタートしました。一年目ということもあり試行錯誤の一年でした。まずは基本として保育士が楽しんで体を動かすことを実践し学ぶことで、共通意識を持ち次のステップへ進む一年となりました。

平成29年度からスタートする「子育て支援拠点事業」の準備期間の一年として環境面や支援の仕方等、次年度に生かせるよう方策について検討しました。

平田豊生苑との月一回定例の会議も定着し、和進館ふれあいセンターのハード・ソフト面等、意見交換する中で課題を共有できた一年でした。

### 1. 保育園の目的・運営方針

#### 1) 目的

平田保育園は、児童福祉法(平成 22 年法律第 164 号)及びなごや子ども条例(平成 20 年名古屋市条例第 24 号)理念にのっとり保育を必要とする乳児及び幼児の保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とします。

#### 2) 運営方針

(1) 保育の提供に当たっては入園する乳児及び幼児の最善の利益を考慮し、その

福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供するよう努めるものとします。

(2) 当園は保育に関する専門性を有する職員が家庭との緊密な連携の下に、利用乳幼児の状況や発達過程を踏まえ養護及び教育を一体的に行うものとします。

(3) 当園は利用乳幼児の属する家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら利用乳幼児の保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努めるものとします。

### 3) 保育理念

「心も体もたくましい子」

### 4) 保育目標

- ・おもいやりのある子
- ・人の話が聞ける子
- ・のびのび遊べる子
- ・自然にふれ感動する子
- ・みんなと仲良く遊べる子

### 5) 保育内容に関する全体計画

平田保育園の保育課程を基に、年間指導計画・食育・保健指導計画・月案・週日案を基に各年齢の発達段階に合わせて保育を行います。

## 2. 一般保育

・通常の開所時間	7:00	～	19:00	の12時間
・延長保育(早朝)	7:00	～	8:30	
・普通保育	8:30	～	16:00	
・長時間保育	16:00	～	18:00	
・延長保育(夕)	18:00	～	19:00	
※平田保育園コア時間	8:30	～	16:30	

## 3. 保育特別事業(引き続き実施する事業)

### 1) 延長保育事業

朝夕の時間を延長して保育ニーズに応えました。利用者の増加に伴い、延長保育も含めた指導計画を作成し、保育の充実を図りました。又延長保育にも担任制を敷き、朝・夕しかコミュニケーションが取れない保護者との対応にも配慮しました。

## 2) 障害児保育事業

軽度（5名）、中度（5名）に認定された子どもに対して補助金を受けている。北部療育センターとの連携を密にとりながら、障害児保育の受け入れを積極的に行いました。

## 3) 一時保育事業

一時保育の希望者は年々増える傾向にあり、非定型保育週3回の利用を、希望者が多くフル活用してもらえない状況です。できるだけ多くの皆さんに利用してもらう為、今年度も利用回数を週2回程度にし、より多くの方に利用してもらうようにしました。

一方で今年、予約を入れていても病気・用事等で当日の休みが目立つこともあった為、当日キャンセルがあった時は、電話で問い合わせのあった方に利用してもらえるような対応に変更しました。

## 4) 入所予約事業

毎年入所予約事業は6名の定員が早い段階で決まってしまう、キャンセル待ちに4～5名が待つほどの状況です。保護者の職場復帰への安定を図る大切な事業でもある為、今後も続けていきます。

## 5) 世代間交流事業

近隣との交流（ふれあい広場の継続）や、地域の行事に参加（コミセン祭り、平田小学校運動会見学、地域秋祭り）して、地域の方との交流を図りました。

今年度からデイサービスセンター平田豊生苑の職員との話しあいを定期的に行い、デイ利用者様と園児との交流を深める一年としました。デイ利用者様、園児ともに楽しく関わられた充実した一年となりました。来年も継続していけるよう職員同士話し合いを続けていきたいと思えます。

## 6) 子育て支援センター「きらきら」

子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、援助の実施、地域の子育て関連情報の提供など地域に出向いて支援活動を実施しました。

「きらきら」では、製作や人形劇、ふれあい遊び、誕生日会など保育内容の充実を図りました。

・毎月木曜日 10:00 ～ 11:30（平田保育園ホール）

※平成29年度より子育て支援拠点事業となる為、今年度は環境面や人的面でも試行錯誤の一年でした。今年度やってきたことを来年のたたき台として子育て支援拠点事業をスタートしたいと思います。

#### 7) 定員の超過受け入れ

待機児解消を図りました。

- ・1・2歳児クラスにプラスで5～6名、5歳児クラスに9名受け入れして、待機児童対策を行いました。
- ・平成28年度入所児童受け入れ数 174名 15%増

#### 6) 複合施設としての保育

平田豊生苑の住人さん、デイサービスの利用者さんとの交流を通して「感謝の心」「思いやりの心」を育成するために日々の保育、行事等検討工夫しました。平田豊生苑との連絡を密にしながら、開かれた施設として地域の拠点となるよう努めました。

外部からの見学者を受け入れ複合施設の利点を含め施設のPRに努めました。

#### 4. 保育行事

1) 春の親子遠足	13) 節分(☆)
2) たなばた(☆)	14) 生活発表会
3) お楽しみ会(東山動物園)	15) ひな祭り会
4) 夏山キャンプ	16) 影絵
5) ハロウィンパーティ	身体検査(内科・歯科・眼科)
6) 敬老祝いの会(☆)	弁当の日(7月・8月を除く)
7) 運動会(☆)	絵画教室 月2回
8) 秋の遠足	体育教室 月2回
9) 親子三代ふれあい広場(☆)	運動あそび 月2回
10) もちつき(☆)	保育参加・保育参観・懇談会
11) クリスマス会(☆)	誕生日会(毎月)
12) 雪山親子そり遊び	上小田井保育園との交流会 人形劇(乳児・幼児)

☆・・・地域の方・平田豊生苑の住人さんと一緒に行った行事  
上記の行事を実施しました。

#### 5. 職員の資質向上

- ・知識、技術の向上のため、園内・園外研修へ積極的に参加しました。
- ・パート職員も研修に参加しました。
- ・各自、各学年で目標を設定し達成できるよう努めました。
- ・和進館保育園との合同研修を行い法人保育部としての意識づけや資質向上に努めました。今年度は「エピソード研修」とし、同じ学年の保育士同士で保育を深める研

修として取り組みました。

- ・保育研究会としては講師を招いて、保育士に向けて「体操教室の基礎」の研修を昨年度も行い、そのことを基本として今年度は子どもの体づくりを、講師を招いて研修しました。

「子どもの体作り」をテーマとし、保育士全員が参加できる参加型研修をわくどき委員会を中心に企画して行いました。

- ・看護師を中心に保育士の救命救急(AED)に対する研修を行いました。
- ・リズムあそびを定例化して幼児組で取り組んでいるなかでの課題について、継続的に話し合う場を設けました。

#### 6. ふれあいセンター連絡会議

平田保育園・平田豊生苑、両施設の施設長・主任の交代に伴い、休止していた「ふれあいセンター連絡会議」を平成28年度より再開した。特養、保育園という単体の考え方ではなく「ふれあいセンター」という視点に立ち、お互いに助け合い、意見交換しながら「ふれあいセンター」の発展に尽力していくことを再確認しながら、月一回行ってきました。

#### 7. その他（施設整備として）

- ・照明設備についてエントランスホールの水銀灯をLEDに交換しました。
- ・各クラス照明器具を二年に分けてLEDに交換しています。(平成28～29年度)
- ・プール手洗い場の配管水漏れに伴い、シャワー設備と手洗い場の改修工事を行いました。
- ・建物の老朽化に伴い雨漏り・水漏れ等、防水面で気になる箇所が目立つ一年でした。

別表1 職員数の内訳

職員数	職種別	施設長	保育士	栄養士	調理員	看護師	小計	臨時職員	保育	掃除	調理	事務	小計	合計
	数	1	22		2	1	26		16	1	1		18	44

別表2 入所状況

月別在籍状況		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	4月	9	28	32	32	29	39	169
5月	12	28	32	32	29	39	172	
6月	12	28	32	32	29	39	172	
7月	12	28	32	32	30	39	173	
8月	12	28	32	32	30	39	173	
9月	12	28	32	31	30	39	172	
10月	11	27	31	32	30	39	170	
11月	12	28	31	33	30	39	173	
12月	12	28	31	33	30	39	173	
1月	12	28	31	33	30	39	173	
2月	12	28	31	33	30	39	173	
3月	12	28	30	33	30	39	172	
計	140	335	377	388	357	468	2,065	
途中入園	6	1	0	0	0	0	7	
退所	0	2	0	0	0	0	2	

クラス別延出席数		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	4月	139	539	594	626	517	762	3,177
5月	190	492	555	277	517	706	2,737	
6月	241	560	665	683	606	842	3,597	
7月	231	552	701	649	539	802	3,474	
8月	196	502	585	548	264	639	2,734	
9月	196	493	577	624	567	722	3,179	
10月	200	561	601	601	675	816	3,454	
11月	215	589	607	680	587	790	3,468	
12月	170	497	533	585	493	682	2,960	
1月	202	476	532	580	510	647	2,947	
2月	240	574	633	674	608	799	3,528	
3月	227	537	595	588	572	716	3,235	
計	2,447	6,372	7,178	7,115	6,455	8,923	38,490	

別表3 延長保育事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
人数	169	131	161	161	129	140	129
日数	25	23	26	25	26	24	25
平均	7	6	6	6	5	6	5

月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	176	168	139	150	147	1,800
日数	19	19	19	20	22	273
平均	9	9	7	8	7	7

## 平成28年度 事業報告

指定介護老人福祉施設 平田豊生苑  
指定短期入所生活介護 平田豊生苑  
デイサービスセンター 平田豊生苑  
平田豊生苑 居宅介護支援事業所  
平田豊生苑 厨房  
平田豊生苑 ふれあい弁当  
名古屋市シルバーハウジング生活援助員派遣事業にかかる受託業務

### 1. 指定介護老人福祉施設 平田豊生苑

- 1) 職員配置について、目標職員数まで介護職員の充足ができず、夜勤体制の負担が増えました。看護職員の業務軽減が課題でしたが、医療依存度の高い方の割合が増えた事と安定した体制確保ができなかったことで業務の軽減にはつながりませんでした。
- 2) ベッド稼働率について、職員不足による体制確保の影響と入院者数の増加により、80%台で推移しました。3月にインフルエンザが蔓延し感染症対策に課題を残しました。
- 3) 生活の質の向上について、ケアプラン作成において生活範囲の拡大ができるよう努め、見直しを図りました。外出の機会が昨年に比べ増加しました。行事については中止とした行事もあり家族参加は減少しました。中止した餅つきに関して、ノロウイルスによる食中毒の懸念から以降の実施の是非が問われています。
- 4) 職員の質の向上について、喀痰吸引研修の受講を進め、技術向上に努めました。施設内研修を毎月実施しました。体調管理の支援として腰痛予防の取組みを継続実施しました。新しい記録システムを導入し間接業務の軽減を図りました。
- 5) 名古屋市実地指導監査で、機能訓練体制加算において職員配置基準の正しい認識ができていなかった為、平成28年3月分実績の取下げ修正をしました。
- 6) 昨年度に続きユーザー評価を実施しました。全体平均よりも高い点数ではありましたが、身だしなみの支援、余暇活動の取組みは不十分でした。
- 7) 新しく発足した名古屋市の「医療介護ものづくり研究会」に参加しました。医療介

護機器やロボットの開発促進を目的とし、コミュニケーションロボット実証実験の受け入れをしました。

8) 家族会のあり方を見直し、家族主体の組織としての家族会は休会としました。

地域別入所状況

平成29年3月31日現在

地域	男性	女性	合計
西区	15	39	54
北区	0	3	3
中区	1	1	2
中村区	0	3	3
昭和区	0	1	1
千種区	0	1	1
守山区	0	1	1
中川区	0	1	1
北名古屋市	1	2	3
清須市	1	3	4
あま市	1	0	1
岩倉市	1	0	1
春日井市	0	1	1
稲沢市	1	1	2
津島市	1	0	1
羽島市	0	1	1
合計	22	57	79

欠員5名

年齢別・性別状況

平成29年3月31日現在

年齢	男性	女性	合計
64歳以下	0	1	1
65～69歳	1	0	1
70～74歳	2	3	5
75～79歳	5	6	11
80～84歳	6	7	13
85～89歳	6	17	23
90～94歳	2	13	15
95～99歳	0	8	8
100歳以上	0	2	2
合計	22	57	79
平均年齢	81.5	87.4	85.8
最低年齢	66	59	
最高年齢	91	102	

欠員5名

要介護度別状況

平成29年3月31日現在

介護度	非	要	I	II	III	IV	V	合計
男性	0	0	1	1	11	6	4	22
女性	0	0	0	2	16	17	21	57
合計	0	0	1	3	27	23	25	79

平均介護度 3.8

非…非該当 要…要支援

欠員5名

平成28年度 行事報告

実施月日	行事名	実施場所	参加人数			
			住人	家族 (総人数)	ボランティア	職員
H28年 7月30日(土)	地域の盆踊り	平田学区体育センターグラウンド	71	15	3	23
9月18日(金)	敬老会 (保育園合同)	中止	—	—	—	—
9月19日(月)	敬老祝い膳	1F 食堂 ・ホール	63	22 (38)		15
10月12日(水) ～13日(木)	ふれあいセンター1泊旅行	太秦映画村の旅	29	12 (17)	5	18
11月19日(土)	ふれあい広場	1F フロア	74	19	4	21
11月22日(火)	保育交流会	3F・4F	64			23
12月18日(日)	クリスマス忘年会	1F 食堂 ・ホール	67	21 (44)		24
12月27日(火)	餅つき	中止	—	—	—	—
H29年 1月1日(日)	初詣	白山神社 十所神社	63			12

平成28年度 入院状況

性別	年齢	病名	入院期間
男	87	肺炎、胸水	～5/16
女	84	肺炎	～4/8
女	94	肺炎	～4/12
女	89	肺炎、尿路感染	～4/14
女	92	消化管出血	4/5～4/30
女	98	尿路感染	4/5～6/2
女	91	肺炎	4/8～5/17 (死亡)
男	78	肺炎、心不全	4/13～4/23
女	90	脳梗塞	4/15～5/9
男	89	硬膜下血腫	4/17～4/27
男	78	細菌感染症	4/18～5/16
男	84	肺炎	4/28～6/8
女	90	類天疱瘡	4/28～5/25
女	89	尿路感染	4/30～5/17

平成28年度 入院状況 (続き)

性別	年齢	病名	入院期間
女	85	細菌性腸炎	5/2～5/11
女	87	蜂窩織炎	5/2～5/10
男	62	肺炎	5/3～5/17
男	92	外傷性ショック	5/6 (死亡)
女	91	肺炎	5/8～6/8
女	82	尿路感染	5/9～6/10
女	88	胃潰瘍	5/9～5/12
女	88	胃潰瘍	5/14～5/27
男	83	肺炎	5/16～5/18 (死亡)
男	82	蜂窩織炎 心不全	5/23～6/10
男	85	尿路感染	5/23～5/31
女	84	肺炎	5/25～6/2
女	85	肺炎	5/27～5/30 (死亡)
女	92	蜂窩織炎	5/30～6/8
女	97	左寛骨白骨折	5/30～8/1
女	98	尿路感染	6/20～6/30
女	89	誤嚥性肺炎	6/10～7/1
女	85	脱水	6/10～6/16
女	88	蜂窩織炎	6/9～7/7
男	65	反射性嘔吐 高血圧症	6/17～6/27
女	83	肺炎 気管支炎	6/28～8/3
男	78	肺炎	6/28～7/12
女	78	肺炎	6/30～7/26
男	65	食思不振症 イレウス	7/2～8/2
男	89	肺炎	7/3～7/4 (死亡)
女	88	右大腿部骨折	7/14～8/1
女	93	肺炎	7/15～7/25
女	98	腎盂腎炎	7/25～8/4
女	81	肺炎	7/29～7/30 (死亡)
女	85	肺炎	7/30～10/8
女	97	心不全	8/16～8/29
男	65	胸水	8/16～9/5
男	80	気管支炎	8/22～8/31 (死亡)
女	91	食思不振	8/23～8/30
女	89	肺炎	8/27～9/16

平成28年度 入院状況（続き）

性別	年齢	病名	入院期間
女	94	肺炎	9/8～10/14
女	95	脳梗塞	9/20～10/8
女	93	肺炎	9/30～10/14
女	72	左腓骨骨折	9/30～10/14
男	81	右大腿部骨折	9/30～11/14（死亡）
女	94	食思不振	10/17～1/17（契約解除）
男	78	蜂窩織炎	10/4～10/14
女	89	肺炎	10/7～11/2
女	85	続発性てんかん	10/12～10/22
男	85	気管支喘息	10/15～10/29
女	90	肺炎	10/22～11/26
女	78	発熱	10/26～11/9
女	97	胸水 心不全	11/3～11/30
女	89	肺炎	11/4～11/24
女	92	蜂窩織炎	11/9～11/16
女	80	脳幹部脳梗塞	11/11～11/14
女	82	食思不振	11/18～2/20
女	93	経口摂取不良	11/18～12/26
男	84	肺炎	11/24～12/7
女	83	胸水	11/25～1/10
男	78	脱水症	12/2～12/3
女	82	肺炎	12/16～12/28
女	78	尿路感染	12/16～12/27
男	84	肺炎 インフルエンザ	12/19～1/12
女	88	肺炎 乳癌	12/27～1/13
男	83	肺炎	12/28～1/11
男	62	肺炎	12/30～1/13（契約解除）
女	89	肺炎	1/6～1/28
男	78	肺炎	1/10～1/18
女	92	心不全	1/10～1/17
男	80	肺炎	1/16～1/30
女	88	腎障害 脱水	1/25～2/13
女	92	心不全	1/26～2/7
女	95	肺炎	1/31～2/10
女	89	肺炎	2/1～2/15

平成28年度 入院状況 (続き)

性別	年齢	病名	入院期間
男	89	肺炎	2/3～2/16
男	78	尿路感染	2/3～2/14
男	78	肺炎	2/4～2/24 (死亡)
女	88	蜂窩織炎	2/14～
女	89	肺炎	2/20～3/14
女	95	肺炎	3/6～
女	91	脳梗塞	3/8～3/22
女	82	尿路感染	3/8～3/17
女	81	脳梗塞	3/9～
女	91	食欲不振	3/10～3/24
女	59	左大腿部骨折	3/12～
女	84	肺炎	3/15～3/29
女	88	インフルエンザ	3/15～3/24
女	89	肺炎	3/18～3/30
女	93	インフルエンザ	3/18～3/25
女	88	インフルエンザ	3/12～
女	79	インフルエンザ	3/21～3/27
男	83	インフルエンザ	3/22
男	89	インフルエンザ	3/24～3/25 (死亡)
女	83	尿路感染	3/25～
男	86	肺炎	3/25～
男	91	インフルエンザ	3/25～
女	88	誤嚥性肺炎	3/27～
女	89	食欲不振	3/29～

平成28年度 受診状況

月	内科	外科	整形	歯科	泌尿器	皮膚科	耳鼻科	メンタル	眼科	婦人科	その他	合計
4	18(9)	3	4	3	15	7(1)			1		1	52(10)
5	26(13)	3(2)	2	3	7	9			2		2	54(15)
6	24(7)	1	2	3	10	12	2		5(1)	2	1	62(8)
7	11(5)	1	5(2)	1	14	9			1	1	1	44(7)
8	17(5)	0	4	6	5	8					2	42(5)
9	14(3)	4	4(2)	8	9	7			2	1	1	50(5)
10	23(7)	2	4	8	10	6					1	54(7)
11	18(8)	6	6	10	7	3			6		1	57(8)
12	17(6)	4(1)	2	4	12	5					1	41(7)
1	11(7)	1	1	0	10	8			3		2	36(7)
2	17(6)	0	2	0	7	10	1		1	1	1	40(6)
3	38(18)	0	4(1)	0	9	8			4	1	1	65(19)
合計	234(94)	25(3)	40(5)	46	115	92(1)	3		21(1)	6	15	597(104)

( ) は入院者数

平成28年度 死亡状況

性別	年齢	死亡原因	死亡日及び場所
男	92	外傷性ショック	5/6 (病院)
女	91	胃癌	5/17 (病院)
男	83	肺炎	5/18 (病院)
男	94	老衰	5/30 (苑)
女	86	心不全	5/30 (病院)
女	92	老衰	7/1 (苑)
男	90	老衰	7/4 (病院)
女	82	肺炎	7/30 (病院)
女	88	老衰	9/5 (苑)
女	93	老衰	10/3 (苑)
女	88	老衰	10/18 (苑)
男	81	肺癌	11/14 (病院)
女	84	老衰	12/25 (苑)
女	88	老衰	2/8 (苑)

平成28年度 死亡状況

性別	年齢	死亡原因	死亡日及び場所
男	78	老衰	2/24 (病院)
男	89	多臓器不全	3/25 (病院)

平成28年度 退所状況 (死亡以外)

性別	年齢	退所理由
男	87	1/13 (退院困難のため契約解除)
女	86	1/17 (退院困難のため契約解除)

平成28年度 個人 (グループ) 外出状況報告

実施月日	入所者数 (家族数)	同伴者	行き先・内容
4月5日(火)	1名	職員1名	岩倉にお花見
4月13日(水)	1名	職員1名	自宅に服を取りに行く。外食
5月13日(金)	3名	職員1名	庄内緑地にバラを見に行く
5月18日(水)	1名	職員1名	MOZOで買い物とランチ
5月25日(水)	1名	職員2名	MOZOで買い物とランチ
5月31日(火)	1名	職員2名	お通夜
6月28日(火)	1名	職員1名	MOZOで買い物とランチ
7月13日(水)	1名	職員1名	コンビニで買い物
7月14日(木)	6名	職員5名	MOZOで買い物とランチ
7月21日(木)	2名	職員1名 (実習生2名)	白山神社
7月23日(土)	1名	職員1名	散歩
7月23日(土)	2名	職員2名	十所神社夏祭り
7月28日(金)	1名	職員2名	リーフウォーク買い物と映画
7月31日(月)	2名	職員2名	ホームセンターへ買い出し
8月4日(木)	1名	職員1名	MOZOで映画鑑賞
8月9日(火)	1名	職員1名	MOZOで買い物とランチ
8月27日(土)	3名	職員3名	観劇(ユースクエア)
8月28日(日)	13名	職員6名	ハンドベルサークル外部公演 (ペガサス春日)
9月1日(木)	1名	職員1名	美容院
9月5日(月) ~9月6日(火)	2名	職員3名	ユニバーサル・スタジオ・ジャ パンと姫路城へ1泊旅行

平成28年度 個人（グループ）外出状況報告（続き）

実施月日	入所者数 (家族数)	同伴者	行き先・内容
9月8日(木)	1名	職員1名	大宝寿司でランチと コンビニで買い物
9月11日(日)	13名	職員9名 実習生3名	ハンドベルサークル外部公演 (イオンタウン名西)
9月21日(水)	1名	職員2名	ホームセンター見学
9月25日(日)	1名	ボランティア 1名	前進座観劇(中日劇場)
9月30日(金)	1名	職員3名	MOZOで買い物と映画
10月24日(月)	1名	職員1名	MOZOで買い物とランチ
11月2日(水)	1名	職員1名	MOZOで買い物
11月2日(水)	1名 (1名)	職員1名	お通夜
11月7日(月)	1名	職員1名	MOZOでランチとお茶
11月10日(木)	4名	職員2名	昭和日常博物館
11月18日(金)	1名	職員2名	牛タン焼き仙台辺見西春店で ランチ
12月15日(木)	1名	職員1名	美容院
12月20日(火)	1名	職員2名	美容院とランチ
2月15日(水)	1名	職員2名	MOZOで買い物と映画
合計延べ人数	74名 (1名)	職員66名 ボラ1名 実習生5名	

平成28年度 実習受入状況

実施月日	実習依頼元	人数	実習内容
平成28年 5月19日～6月3日 6月27日～6月30日	西陵高校	3名	介護実習
5月30日	中央福祉専門学校	18名	施設見学
7月1日～8月17日	日本福祉大学	2名	社会福祉士実習
7月11日～8月10日	中央福祉専門学校	3名	相談援助実習
8月2日～8月23日 10月18日～10月20日	西陵高校	3名	介護実習

平成28年度 実習受入状況 (続き)

実施月日	実習依頼元	人数	実習内容
8月30日～9月30日	日本福祉大学	3名	社会福祉士実習
9月26日、27日	中央福祉専門学校	16名	施設見学
11月7日～11月9日	西陵高校	3名	介護実習
11月7日～12月12日	同朋大学	2名	社会福祉士実習
12月2日	浄心中学校	5名	福祉体験学習
12月14日～12月15日	西枇杷島中学校	5名	福祉体験学習
平成29年 1月23日～2月3日	中央福祉専門学校	4名	介護福祉士実習
1月23日	日本福祉大学	5名	介護実習
2月9～2月10日	平田中学校	3名	職場体験学習
3月28日	タイ公立看護教育機関	38名	施設見学

平成28年度 施設内研修

実施月日	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
平成28年 6月21日	5階会議室	おむつ研修	平田豊生苑ホーム職員	13名
7月25日	5階会議室	新人研修	平田豊生苑新人職員	8名
8月25日	5階会議室	施設内研修 施設理念について	平田豊生苑介護職員	15名
9月8日	5階会議室	口腔ケア研修	平田豊生苑介護職員	17名
9月10日	5階会議室	オムツ研修	平田豊生苑介護職員	28名
9月22日	5階会議室	施設内研修 施設錠について	平田豊生苑介護職員	9名
10月16日	5階会議室	施設内研修 誤薬について	平田豊生苑介護職員	18名
11月24日	5階会議室	施設内研修 虐待について	平田豊生苑ホーム職員	9名
12月22日	5階会議室	感染症研修	平田豊生苑ホーム職員	13名
平成29年 1月26日	5階会議室	施設内研修 認知症について	平田豊生苑ホーム職員	16名
2月24日	5階会議室	口腔ケア研修	平田豊生苑ホーム職員	18名

平成28年度 施設外研修

実施月日	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
平成28年 4月20日	北名古屋市総合体育館多 目的ホール	地域包括ケア研修会	生活相談員 介護支援専門員	2名
5月26日	名古屋市総合社会福祉会館 研修室	社会福祉施設 栄養士グループ研修	管理栄養士	1名
5月26日	住友生命名古屋ビル1階	介護職の接遇とマナー	介護職員	1名
5月26日	西保健所 多目的室	給食施設講習	管理栄養士	1名
6月1日 ～12月31日	大高南コミュニティセン ター 他	喀痰吸引研修	介護職員	1名
6月2日 ～7月19日	名古屋国際会議場 他	名古屋市認知症介護 実践研修	介護支援専門員	1名
6月10日	名古屋市 中央卸売市場本場	名古屋市 HACCP セ ミナー	調理員	1名
6月17日	ニチワ電気名古屋支店 テストキッチン	経営改善、人手不足 に備える	調理員	1名
6月20日 ～21日	名古屋国際会議場	東海北陸ブロック老 人福祉施設研究大会	看護師	1名
7月10日	愛知学院大学 名城公園キャンパス	福祉の未来人材ナビ ゲーション	介護職員 事務職員	2名
8月3日	名古屋国際会議場	介護保険指定事業者 講習会	生活相談員	1名
8月4日 ～9月20日	名古屋市国際会議場 他	名古屋市認知症介護 実践者研修	介護職員	1名
8月21日	愛知県看護研修会館	診療所に勤務する看 護職の医療安全対策	看護職員	1名
8月21日	名古屋市総合社会福祉会館 研修室	配食サービス事業者 研修会	管理栄養士	1名
8月26日	名給本社南館4階	咀嚼嚥下セミナー	調理員	1名
9月10日	名古屋国際会議場	チームで取り組む褥 瘡対策・感染対策	看護職員	1名
10月13日	名古屋市福祉協議会 社会福祉研修センター	嚥下食の調理技術、 調理工程の簡略化	調理員	1名
11月4日、 15日	名古屋獣医師会館2階	食品衛生リーダー 講習会	調理員	1名
11月6日	名古屋市公会堂	介護認定審査会研修	生活相談員	1名

平成28年度 施設外研修（続き）

実施月日	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
11月11日	ナディアパーク デザインセンタービル	医療介護ものづくり 研究会	施設長 生活相談員	2名
11月15日	九州大学医学部百年講堂	全国抑制廃止研究会	介護職員	2名
12月6日	ウインクあいち	初心者向け介護技術 研修	介護職員	2名
平成29年 1月21日	日本福祉大学社会福祉総 合研修センター	初任者向け介護技術 研修	介護職員	2名
2月14日	ウインクあいち	三職能合同講習会	看護職員	1名
2月15日 ～10月31日	特別養護老人ホーム 東 桜の里	喀痰吸引研修	介護職員	1名
2月27日	名古屋ガーデンパレス3階	愛知県災害派遣福祉 チーム員登録研修	介護職員	1名
3月9日	陸上自衛隊守山駐屯地	給食施設講習会	管理栄養士	1名

職員配置（短期入所生活介護職員含む）

入所者定員…施設入所者84名、短期入所利用者16名、合計100名

区分	配置基準	職員数		
		常勤	非常勤	合計
施設長	1	1		1
医師（嘱託医）	1		1	1
生活相談員	1	1		1
介護支援専門員	1	1		1
介護職員	31	29	8.8 (16)	37.8 (45)
看護職員	3	2	1.2 (2)	3.2 (4)
機能訓練指導員	1	1	0.4 (4)	1.4 (5)
栄養士	1	1		1
調理員		4	4.2 (9)	8.2 (13)
事務員	1	4		4
その他			1.4 (5)	1.4 (5)
合計	41	44	17 (37)	61 (81)

職員数は常勤換算人数（派遣職員を含む。育休・病休職員は含まず）

（ ）内は実人数

平成29年 3月31日現在

## 2. 指定短期生活介護 平田豊生苑

- 1) ベッド稼働率は特養の空きベッドを利用することで目標稼働率の達成ができました。長期利用者が多くなり、特養入所申込みとの兼ね合いも含めて調整が困難となってきました。特養入所待ちの利用が増え、在宅生活継続のためのショートステイ利用のあり方が問われました。
- 2) 名古屋市実地指導監査で、機能訓練体制加算において職員配置基準の正しい認識ができていなかった為、平成28年3月分実績の取下げ修正をしました。
- 3) 名古屋市のユーザー評価の実施を28年度は見送りました。利用者の変動が少なく他事業所との重複が多く回答率も下がってきている為で、以降は隔年実施としました。
- 4) ショートステイ利用者の受診は家族対応を原則としていましたが、緊急時等の定期受診以外で通院が必要な場合または家族対応が困難な場合においては、協力病院を中心に施設対応していく事としました。

### 5) ショートステイ利用者・地域別一覧

地域	学区	町名	人数	地域	学区	町名	人数
西区	平田	平出町	5	西区	大野木	大野木	3
		山木	1		庄内	笠取町	2
		城町	4		稲生	稲生町	1
		平中町	5			天塚町	1
		円明町	3		上名古屋	上名古屋	2
		城西町	1			城北町	1
		丸野	1	西区合計			(48)
	浮野	中沼町	6	北区			3
		浮野町	3	南区			1
	山田	八筋町	1	守山区			1
		上小田井	2	北名古屋市			6
		貴生町	2	清須市			6
	中小田井	中小田井	2	豊山町			1
	比良西	清里町	2				
				計			66

\*西区のみ、学区・町名の内訳を記載。

## 6) ショートステイ利用者・居宅別一覧

	居宅介護支援事業所	男	女	計
西区	平田豊生苑居宅介護支援事業所	9	12	21
	介護支援ノッポの会	4	2	6
	じゃがいも平田介護支援センター	4	3	7
	愛 居宅介護支援事業所	2	2	4
	山田指定居宅介護支援事業所	2	1	3
	あいりケアプラン	0	1	1
	庄内の里介護支援センター	0	1	1
	ケアサポート秋桜	0	3	3
	やさしい手庄内通	1	0	1
	比良西ケアサポート	0	1	1
北区	北区介護保険事業所	1	0	1
	ノッポの会福德	1	0	1
南区	南区ケアマネジメントセンター	1	0	1
北名古屋	じゃがいも北名古屋介護支援センター	0	1	1
	福祉の里北名古屋東ケアプランセンター	0	1	1
	福祉の里北名古屋西ケアプランセンター	1	1	2
	あかいてんとうむしケアプランセンター	1	1	2
	あかいてんとうむしケアプランセンター西春	0	1	1
清須市	ケアマネジメントセンター アイビー	0	1	1
	西春日井福祉会居宅介護支援事業所	5	2	7
合計		32	34	66

### 3. デイサービスセンター平田豊生苑

#### 1) 稼働率・利用収入について

平成28年度は、実績目標の22.5人には及ばず、平均利用人数19.7人（前年比△0.4人）、利用収入は530万円減となりました。但し、人件費については加算を含む配置基準をクリアし、昨年度より260万円抑えることが出来ました。

#### 2) サービス向上について

今年度は、加湿器の設置や適時換気することにより、インフルエンザ等、感染症を防ぐことができました。また昨年同様、月に一度の特養ホームとの交流会や、今年度より平田保育園との交流も積極的に実施。入所者、利用者に良質な刺激となりました。

#### 3) 実績目標

目標22.5人には及ばず、平均利用人数19.7人となりました。

#### 4) 職員の質の向上について

苦情処理や傷害報告、ヒヤリハットを活用し、情報の共有と危機管理能力向上に注力しました。また、連絡会に出席することにより区内の他事業所と情報交換を図りました。

#### 5) その他

平成28年6月の名古屋市実施指導において、個別機能訓練加算Ⅱの加算要件を満たしていないため、290万円強の取り下げとなりました。加算制度及び書類等の保存に関する認識不足が原因です。

職員配置（利用者1日25名あたり）

平成29年3月31日現在

区 分	配置基準	職 員 数		
		常勤	非常勤	合計
管理者	1	1.0 (1)		1.0 (1)
生活相談員	1	1.0 (2)		1.0 (2)
介護職員	3	2.1 (3)	2.6 (5)	4.7 (8)
看護職員	1	1.0 (2)		1.0 (2)
機能訓練指導員	1		0.3 (3)	0.3 (3)
合計	7	5.1 (8)	2.9 (8)	8.0 (16)

職員数は常勤換算人数 ( )内は、実人数

平成28年度 デイサービスセンター平田豊生苑 行事報告

実施月日	行事名	実施場所	参加者数		
			利用者	家族	ボランティア
H28.4/1~4/5	花見		希望者全員 (計44名)		
H28.4/18	デイホーム交流会 (風船バレー)	デイルーム	当日利用者 全員		
H28.5/9 ~5/12	デイホーム交流会 (特大紙相撲)	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 18名	
H28.5/10.13	お茶会	デイルーム	当日利用者 全員		
H28.5/18	ハーモニカ じょうしん来苑	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 20名ほど	
H28.6/13.16	デイホーム交流会 (ティッシュ飛ばし)	デイルーム 3階フロアー	当日利用者 各日10名	住人さん 各日10名	
H28.6/24	詩吟の会比良分会 来苑	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 13名	7名
H28.6/20 ~6/25	七夕飾り作り	デイルーム	利用者全員		
H28.7/7	デイホーム交流会 (風船バレー)	デイルーム	希望者全員 (計14名)	住人さん 18名	
H28.7/25.26	流しそうめん	デイルーム	当日利用者 全員		
H28.8/2.3.4 (8/4は交流会)	夏祭り(盆踊り)	デイルーム	当日利用者 全員		15名
H28.8/24	三味線の会	デイルーム	当日利用者 全員		2名
H28.9/9	デイホーム交流会 (運動会)	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 23名	
H28.10/20	デイホーム交流会 (横綱を倒せ)	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 9名	
H28.11/8	文化祭	デイルーム	当日利用者 全員		
H28.11/16	ハーモニカ じょうしん来苑 (交流会)	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 10名	

平成28年度 デイサービスセンター平田豊生苑 行事報告 (続き)

実施月日	行事名	実施場所	参加者数		
			利用者	家族	ボランティア
H28.11/30	三味線の会 (文化祭)	デイルーム	当日利用者 全員		2名
H28.12/12	交流会 (並び替えゲーム)	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 9名	
H28.12/13	忘年会 (歌うま選手権)	デイルーム	当日利用者 全員		
H29.1/1	年賀状	各自宅	利用中利用者 喪中の方を除く		
H29.1/2.3	初詣	白山神社	希望者全員		
H29.1/11	鏡開き (ぜんざい)	デイルーム	当日利用者 全員		
H29.1/13	かくし芸	デイルーム	当日利用者 全員		
H29.2/3	節分	デイルーム	当日利用者 全員	保育園児 50名ほど	
H29.2/9	はだか祭	デイルーム	希望者全員		
H29.2/18	太鼓演奏会 (交流会)	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん、ショートス テイ利用者合わせて 46名	
H29.3/2	卒園児との集い	デイルーム	当日利用者 全員	住人さん 20名	園児 39名

居宅別実利用者一覧表 (平成29年3月現在)

平田豊生苑 (いきいき委託含む)	23名	ノッポの会	3名
じゃがいも居宅	1名	サクライメディカル	1名
あいりケアプラン	1名	庄内の里	1名
ゆうケアプラン	1名	あかいてんとうむしケアプラン	2名
シルバープランてんとうむし	1名	二方の郷	1名
名古屋市北西ケアマネジメント	1名	秋桜	1名
ノッポ 福德	1名	エイル	1名
生協あじま	0名		

(計 39名)

平田養生苑 月間利用状況推移表

	定員 84人					事業計画目標					ホーム・ショート 稼働率: 92%					平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
平成27年度	81	80	79	80	82	80	80	82	79	79	81	81	81	80	80	
利用人数	2,278	2,311	2,248	2,378	2,397	2,366	2,359	2,201	2,291	2,270	2,270	2,134	2,306	2,295	2,295	
延べ利用人員日数	75.9	74.5	74.9	76.7	77.3	78.9	76.1	74.4	73.9	73.6	73.6	74.4	75.2	75.2	75.2	
1日あたり平均利用人数	90.4	88.7	89.2	91.3	92.1	93.9	90.6	87.3	88.0	87.6	87.6	88.6	89.6	89.6	89.6	
稼働率(%)	4.02	4.02	3.99	4.01	3.99	3.92	3.94	3.94	3.91	3.85	3.90	3.90	4.05	4.0	4.0	
平均要介護度																
平成28年度	78	78	75	75	76	77	77	77	76	75	78	78	78	77	77	
利用人数	2,189	2,164	2,103	2,180	2,297	2,225	2,180	2,125	2,214	2,158	1,969	2,208	2,168	2,168	2,168	
延べ利用人員日数	73.0	69.8	70.1	70.3	74.1	74.2	70.3	70.3	71.4	69.6	70.3	71.2	71.3	71.3	71.3	
1日あたり平均利用人数	86.9	83.1	83.5	83.7	88.2	88.3	83.7	84.3	85.0	82.8	83.7	84.8	84.8	84.8	84.8	
稼働率(%)	3.87	3.84	3.87	3.88	3.80	3.78	3.78	3.78	3.83	3.80	3.90	3.90	3.90	3.8	3.8	
平均要介護度																

②ショート 定員 16人

	定員 16人					事業計画目標					稼働率: 90%					平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
平成27年度	26	25	29	35	37	31	31	32	32	31	30	34	31	31	31	
利用人数	394	378	445	550	582	468	526	505	496	486	545	572	496	496	496	
延べ利用人員日数	13.1	12.2	14.8	17.7	18.8	15.6	17.0	16.8	16.0	15.7	18.8	18.5	16.3	16.3	16.3	
1日あたり平均利用人数	82.1	76.2	92.7	110.9	117.3	97.5	106.0	105.2	100.0	98.0	117.5	115.3	101.6	101.6	101.6	
稼働率(%)	3.00	3.04	2.97	3.18	2.97	3.23	3.39	2.91	2.66	2.80	3.10	2.96	3.02	3.02	3.02	
平均要介護度																
平成28年度	33	31	32	30	33	33	31	29	31	33	30	27	31	31	31	
利用人数	584	565	571	511	557	567	573	530	569	555	505	441	544	544	544	
延べ利用人員日数	19.5	18.2	19.0	16.5	18.0	18.9	18.5	17.7	18.4	17.9	18.0	14.2	17.9	17.9	17.9	
1日あたり平均利用人数	121.7	113.9	119.0	103.0	112.3	118.1	115.5	110.4	114.7	111.9	112.7	88.9	111.8	111.8	111.8	
稼働率(%)	3.06	3.00	3.09	3.07	2.88	3.03	3.19	3.30	3.20	3.40	3.30	3.20	3.14	3.14	3.14	
平均要介護度																

③デイ 定員 (月~土)25人

	定員 (月~土)25人					事業計画目標					稼働率: 90%					平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
平成27年度	48	47	46	48	47	49	46	46	46	42	46	44	46.3	46.3	46.3	
利用人数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	26	25	27	26.2	26.2	26.2	
営業日数	522	531	523	571	551	548	550	508	515	489	494	514	523.3	523.3	523.3	
延べ利用人員日数	20.1	20.4	20.1	21.1	21.2	21.1	20.4	20.3	19.1	18.8	19.8	19.0	20.1	20.1	20.1	
1日あたり平均利用人数	80.3	81.7	84.0	84.6	84.8	84.3	81.5	81.3	76.3	75.2	79.0	76.1	80.8	80.8	80.8	
稼働率(%)	2.83	2.84	2.89	2.73	2.89	2.82	2.78	2.80	2.76	2.71	2.76	2.83	2.80	2.80	2.80	
平均要介護度																
延長サ一ビス延べ利用人数	4	7	7	3	5	2	6	5	4	3	2	3	4.25	4.25	4.25	
定員 (月~土)25人	4	7	7	3	5	2	6	5	4	3	2	3	4.25	4.25	4.25	
平成28年度	42	44	45	47	48	48	48	47	45	39	41	39	44.4	44.4	44.4	
利用人数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	26	24	27	26.1	26.1	26.1	
営業日数	503	503	508	544	570	547	558	539	519	462	434	488	514.6	514.6	514.6	
延べ利用人員日数	19.3	19.3	19.5	20.9	21.1	21.0	21.4	20.7	19.2	17.5	18.0	18.0	19.7	19.7	19.7	
1日あたり平均利用人数	77.4	77.4	78.2	83.7	84.4	84.2	85.6	82.8	76.8	71.1	72.3	72.3	78.9	78.9	78.9	
稼働率(%)	2.74	2.73	2.71	2.79	2.79	2.83	2.85	2.70	2.90	2.80	2.70	2.7	2.7	2.7	2.7	
平均要介護度																
延長サ一ビス延べ利用人数	9	9	4	3	2	1	3	5	4	8	15	27	7.50	7.50	7.50	
定員 (月~土)25人	9	9	4	3	2	1	3	5	4	8	15	27	7.50	7.50	7.50	

#### 4. 平田豊生苑居宅介護支援事業所

- ・平成28年3月非常勤職員が退職し、4月は介護支援専門員1名でスタートしました。8月に新人介護支援員非常勤職員1名が異動し、2名体制となりました。
- ・名古屋市から委託されている『高齢者いきいき相談室』は、地域の方を中心に口コミで広がりを見せています。
- ・いきいき支援センターより介護予防の新規利用者の委託を受けることにより、要支援から要介護まで一貫してプランを持つことができ、紹介の問い合わせは増えています。
- ・介護給付件数は平均51.6件/月となり昨年比2.6件増えました。予防給付件数は4.1件減少となりました。新規利用者は年間を通して6名。職員の業務過多の為、新規獲得を制限し介護支援専門員の持つ適正担当件数にしました。
- ・ユーザー評価について、職員の入れ替り等があり引き続き厳しい評価を頂きました。結果を真摯に受け止め、知識を豊富にし、利用者様との信頼関係を構築し、安心して利用していただけるよう努力しました。
- ・平成29年1月より、近隣の事業所と協力し『ひらたカフェ（認知症カフェ）』を平田豊生苑喫茶にて、第二木曜日の午後、月一回開催しています。

#### 平成28年度研修

- ・ほっとタイム（西区ケアマネ研修）

月日	開催場所	研修内容	参加者
4月26日(金)	西区役所講堂	総合事業とマイナンバー制度	1名
8月19日(金)	西区在宅サービスセンター	ケアマネジャー情報交換会	2名
9月14日(金)	西区役所講堂	認知症の方の支援と認知症ケアパスの活用法	2名
10月20日(木)	〃	西区の防災を考える	2名
11月29日(火)	西区在宅サービスセンター	専門職向け認知症講座Ⅱ	1名
12月15日(木)	西区在宅サービスセンター	高齢者虐待ネットワーク研修	1名
1月24日(火)	〃	成年後見人勉強会	2名
2月20日(月)	〃	これからの西区介護支援事業をうらなう	1名
3月28日(火)	〃	リスクマネジメント研修会	1名

・メディカルスタディ（いきいき支援センター主催）

月日	テーマ	担当医	参加者
12月13日(火)	訪問診療事例のあれこれ	木股貴哉 Dr	1名
1月10日(火)	腫瘍マーカーから読み取る癌疾患	桜井 敏 Dr	1名

・高齢者いきいき相談室研修

月日	開催場所	研修内容	参加者
5月24日(火)	西区在宅サービスセンター	高齢者いきいき相談室定例会議	1名
8月18日(木)	中区役所ホール	高齢者いきいき相談室研修	1名
10月20日(木)	西区在宅サービスセンター	高齢者いきいき相談室定例会議	1名
2月20日(木)	〃	高齢者いきいき相談室定例会議	1名

・いきいき相談室相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所		1		1		1		2			1	1	7
電話							1		1	1		1	4
訪問	1						1				1		3
地域協力							1						1
合計	1	1	0	1	0	1	3	2	1	1	2	2	15

※10/9 地域行事協力として西区民おまつりに参加

・主任介護専門員定例打ち合わせ

4/26 (金)、5/24 (火)、9/14 (水)、10/20 (木)、12/15 (木)  
1/24 (火)、2/20 (月)、3/28 (火)

・その他研修

月日	開催場所	研修内容	参加者
4月20日(土)	北名古屋市総合体育館多目的ホール	北名古屋市「地域包括ケア研修会」 北名古屋市の福祉制度、情報交換	1名
4月26日(金)	西区在宅サービスセンター	西区ケアマネ交流会 平田豊生苑ふれあい弁当試食会	1名
5月11日(水)	中区役所ホール	介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)における留意点について	1名

・その他研修（続き）

月日	開催場所	研修内容	参加者
7月2日(土)	名鉄病院	認知症疾患センターと西区居宅支援事業所連絡会「報われたい認知症支援」	1名
7月2日(土)	市内飲食店	西区居宅介護支援事業所と西区医師会との親睦会	1名
7月28日(木)	名古屋市総合福祉会館大会議室	名古屋市認定調査員研修(新任研修)	1名
8月3日(水)	センチュリーホール	介護保険指定事業者講習会（集団指導）	1名
9月14日(水)	西区在宅サービスセンター	わいがや〇×問題解決事例検討会	1名
10月19日(水)	名鉄病院	急変時の対応	1名
11月5日(土)	〃	西区多職種研究会「今後の医療を考える」	1名
11月5日(土)	市内飲食店	西区医師会懇親会	1名
11月16日(水)	名古屋医療センター	緩和医療研究会	1名
11月20日(日)	スズケン本社	介護職種向けセミナー「糖尿病」	1名
1月19日(木)	名鉄病院	「医療関連感染対策を知ろう」在宅施設編	1名
2月24日(金)	北名古屋市東庁舎	北名古屋市地域包括ケア研修会「若年性認知症とともに生きる人の支援について」	1名
3月15日(水)	あいち介護センター	知って安心！運営基準の勘所～具体的事例で再確認～	1名
3月28日(火)	西区医師会館	在宅医療支援体制を利用した在宅医療導入法	1名

## 5. 平田豊生苑 厨房事業報告

### 1) 個々の食事の味付けの統一を進めました。

厨房職員全員での味見とレシピの統一を行い、一定の味付けで提供できるよう心がけました。主食の硬さについては意見をいただくこともありました。

今後も継続して厨房業務の課題として取り組んでいく必要があると考えています。

### 2) 選択メニューの提供を行いました。

各フロアごとに月に1回、選択メニューを提供しました。事前聞き取りを行い、廃棄食材を出さず「選ぶ楽しみ」を感じていただけるよう取り組みました。次年度は更なる内容の充実と、喫食する側の要望を生かした選択メニューを提供していけるよう、努めていきたいと思っております。

### 3) ソフト食の完全導入に向けて、取り組みました。

日々の食事として、無理なく提供できるように検討し、実施しました。今後も介護現場の声を聴き、意見交換をしながら細かいレシピの調整や作業工程の見直し、硬さの調整などに取り組んでいきたいと思っております。

### 4) 平田豊生苑・平田保育園の協力体制として、保育現場での調理や、様々な分野の食事提供に積極的に取り組みました。

### 5) 経費面では、サービスの質を落とすことなく、全体の食材費は昨年比0.7%のコスト削減となりました。原材料費の値上げはあったものの、細かい発注先の調整が削減につながったと思われます。

## 6. 平田豊生苑 ふれあい弁当事業報告

### 1) 利用者からの声に対して、フィードバックできるよう定期的なミーティングを行い、配達員が利用者の状況を速やかに把握できるよう努めました。

### 2) 利用者一人ひとりの嗜好や疾病などによる禁止食、体調の変化による食事形態、主食・汁等不要な利用者に対する代替の一品、個々の硬さへの対応等の個別対応に努め、配食サービスの質の維持、向上を図りました。

### 3) 食数の確保に向け取り組みましたが、年間目標の1日85食を達成することはできませんでした。前年度と食数の比較をすると1日あたり約10食減となりました。利用者数の減少や、利用地域の縮小が原因と考えられます。

次年度は平田小学校区での新規利用者の獲得に力を入れ食数増加に努めていきたいと考えています。

4) 食材料費は総額では削減したものの、一食あたりでは昨年比7.2%のコスト増となりました。食数の減少もあり、大容量の食材を安く仕入れることが困難となり、そのまま経費に反映されてしまいました。食材の質を落とすようなことはありませんでした。また、配食用システムキャリーの変形による不具合がこれ以上おきないように、日々の乾燥時間の調整及びチェックを行い、利用者に不都合のないよう対応しました。

5) 聞き取り式のアンケートは実施できませんでした。次年度はぜひ実施し、利用者の声を聞き、質の向上を目指していきたいと思えます。

平成28年度 平田豊生苑 ふれあい弁当 1日あたり月別利用者推移

	介護保険平均	非該当平均	月平均数	延べ利用数	朝利用数
平成28年4月	79.2	9.7	88.9	2,668(2,677)	83
5月	72.6	10.6	83.2	2,578(2,628)	62
6月	71.6	11.8	83.4	2,503(2,677)	60
7月	72.2	11.9	84.1	2,606(2,885)	64
8月	70.2	13.9	84.1	2,607(2,752)	62
9月	69.1	15.1	84.2	2,525(2,830)	47
10月	66.5	14.5	81.0	2,509(2,847)	31
11月	65.4	14.4	79.8	2,393(2,842)	30
12月	65.4	14.8	80.2	2,486(2,903)	32
平成29年1月	64.0	15.3	79.3	2,457(2,726)	34
2月	62.4	13.6	76.0	2,128(2,584)	56
3月	57.5	9.4	66.9	2,071(2,780)	62
合計	816.1	155.0	971.1	29,531(33,131)	623

( )内は平成27年度数

- ・平均利用数                      . . .   80.9 (90.8)
- ・平均延べ利用数               . . .   2,461 (2,761)

## 7. 名古屋市シルバーハウジング生活援助員派遣事業にかかる受託業務

当事業は、国のシルバーハウジング・プロジェクトの実施に基づく名古屋市のシルバーハウジング（平田シルバー住宅）に生活援助員を派遣し、入居されている方々が、地域の中で自立して安全かつ快適な生活を営む事ができるよう、その在宅生活を支援することを目的として、平成28年11月より受託、業務を開始しました。平成29年度も引き続き受託しております。

生活援助員（LSA＝ライフ・サービス・アドバイザー）が概ね週5日、各戸を訪問し、安否確認を行い、各種相談に応じた上、必要に応じて専門機関への橋渡しを行いません。初年度となった平成28年度は、諸々の準備に対応する為、平田豊生苑・特養の介護経験のある正職員を起用。特養の現場での豊富な経験を活かし、事業立ち上げに努力しました。

全29世帯を対象とする事業ですが、平成29年3月末時点で27世帯の入居となっています。平成28年度の5ヶ月間では緊急通報はなく、装置の誤作動による通報が24回有りました。訪問時に体調不良を訴えられ、救急車要請対応を行ったケースが1件有りました。

## 平成28年度 事業報告

地域密着型介護福祉施設入所者生活介護 守山豊生苑  
短期入所者生活介護 守山豊生苑

### 1. 地域密着型介護福祉施設入所者生活介護 守山豊生苑

#### 1) 職員配置について

- (1) 主治医、看護職員、介護職員、管理栄養士が連携をとり、住人さんの健康管理を進めることができました。
- (2) 男性職員の補充をスムーズに行うことができませんでしたが、看護職員の協力のもと同性介護を実施することができました。

#### 2) ベッド稼働率について

- (1) 97%稼働の目標を達成できました。
- (2) 新規入所の方がなかなか決まらず、退所から入所までのベッドの空床期間が長期間となり、開所年度を除いてベッド稼働率が最低となりました。

#### 3) 生活の質の向上について

- (1) 日帰り旅行を企画し、多くの住人さんやご家族の方に参加していただきましたが、個人外出の機会を増やすことができませんでした。
- (2) サークル活動等の提供が職員だけでは十分に行えない為、落語、腹話術、楽器演奏などの一芸を披露して下さるボランティアに来ていただき、楽しんでいただくことができました。
- (3) 和進館児童ホームとの合同行事（和進ふれあいフェスティバル、もちつき）を企画しましたが、今年度も子どもたちと住人さんとの交流の場というところまでは至りませんでした。
- (4) 地域団体からの行事参加のお誘いがあり、地域の方々との交流の場をもつことができました。
- (5) 既存の福祉用具では対応できないところを、職員が手作りすることでその方に合った用具を提供することができました。

#### 4) 職員の質の向上について

- (1) 全職種の職員が外部研修に参加し、受講内容を職員会議内で報告し、知識を全職種に広めることができました。
- (2) 各種委員会において、方針や知識の共有を図ることができました。
- (3) 非常勤職員の会議参加を進め、ユニット内の介護の統一を図りました。
- (4) 喀痰吸引等研修を受講し、職員のケア技術向上に努めました。

5) 施設運営について

(1) 職員配置を維持することにより、加算を継続的に算定することができ、収入の安定を図ることができました。

(2) 守山豊生苑の取り組みを広くアピールすることができず、入所申込者を増やすことができませんでした。

地域別入所状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

地域	男性	女性	合計
西区	0	1	1
北区	1	1	2
南区	0	0	0
東区	0	3	3
中区	0	1	1
中村区	0	0	0
昭和区	0	0	0
天白区	0	0	0
千種区	1	1	2
瑞穂区	1	1	2
熱田区	0	1	1
中川区	0	0	0
名東区	0	1	1
港区	0	0	0
緑区	0	0	0
守山区	7	8	15
合計	10	18	28

年齢別・性別状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

年齢	男性	女性	合計
65歳未満	0	1	1
65歳以上	0	0	0
70歳以上	1	2	3
75歳以上	2	0	2
80歳以上	3	4	7
85歳以上	3	4	7
90歳以上	1	3	4
95歳以上	0	4	4
100歳以上	0	0	0
合計	10	18	28
平均年齢	82.2	85.5	
最低年齢	70	50	
最高年齢	93	99	

要介護度別状況

平成 29 年 3 月 31 日現在

介護度	非	I	II	III	IV	V	合計
男性	0	0	0	1	5	4	10
女性	0	0	1	1	4	12	18
合計	0	0	1	2	9	16	28

平均介護度・・・4.42

非・・・非該当

平成28年度 行事などの状況

( ) 内は家族数

実施月日	行事名	実施場所	参加者数			
			住人	家族	ボランティア	職員
5月12日	日帰り旅行	世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ	20	10	0	12
7月30日	盆踊り	廿軒家小学校	11	10 (6)	6	4
7月31日	盆踊り	廿軒家小学校	10	7 (3)	5	4
10月12日 ～13日	一泊旅行	太秦映画村、彦根城、 名古屋港水族館	5	2 (2)	0	4
11月13日	和進ふれあい フェスティバル	和進ふれあいセンター内	26	27 (16)	0	12
12月11日	クリスマス忘年会	和進ふれあいセンター内	28	25 (15)	0	14
12月28日	もちつき	和進ふれあいセンター内	23	2 (2)	8	10
1月1日	初詣	神明社	12	0	0	4
1月2日	初詣	神明社	6	2 (2)	0	3

平成28年度 入院状況

性別	年齢	病名	入院期間
女性	85	脳梗塞、腎不全	平成28年7月22日～9月7日(死亡)
男性	83	腭頭部癌	平成28年11月2日～11月18日
男性	81	誤嚥性肺炎	平成28年11月28日～12月5日(死亡)

平成28年度 受診状況

	内科	整形	外科	眼科	神経 内科	歯科	耳鼻 科	皮膚 科	泌尿 器科	嘱託 医院	救急 外来	合計
4月			1	1					2	1	1	6
5月				1					2	1	2	6
6月	3							4	2	2		11
7月	1		1	1	1			2	2			8
8月	1							1	3	6		11
9月				1	1				2	1		5
10月				1	1			1	3	3		9
11月	2			1	2				3	2	1	11
12月				1	1				2	7		11
1月	2			1	2				2	1		8
2月	1				1				3	5		10
3月				2	1			7	2			12
合計	10	0	2	10	10	0	0	15	28	29	4	108

平成28年度 死亡状況表

性別	年齢	死亡原因	死亡日及び場所
女性	68	呼吸不全	平成28年6月27日(苑内)
女性	85	慢性呼吸不全急性増悪	平成28年9月7日(病院)
女性	90	老衰	平成28年11月7日(苑内)
男性	81	誤嚥性肺炎	平成28年12月5日(病院)
男性	83	腭頭部癌	平成28年12月28日(苑内)
女性	86	老衰	平成29年1月1日(苑内)
女性	87	敗血症	平成29年1月20日(苑内)

平成28年度 退所状況表(死亡以外)

※平成28年度は該当者なし。

平成28年度 個人（グループ）外出状況報告

実施日時	入所者数	同伴者	行き先・内容
H28年4月10日	2名	職員2名	プロ野球観戦（ナゴヤドーム）
4月22日	1名	職員1名	アピタ新守山店（写真展観賞）
4月22日	2名	職員1名	はま寿司 守山店(外食)
4月27日	1名	職員1名	緑区 寺院（法事）
7月5日	1名	職員1名	参議院選挙期日前投票（守山保健所） ハードオフ守山店
7月6日	1名	職員1名	参議院選挙期日前投票（守山保健所）
7月8日	1名	職員2名	参議院選挙期日前投票（守山保健所）
7月27日	4名	職員7名	柳橋ビアガーデン（外食）
9月26日	1名	職員1名	北名古屋歴史民俗資料館 回転寿司（外食）
10月28日	1名	職員1名	アピタ千代田店（買い物、喫茶）
11月5日	1名	職員1名	コメダ（喫茶店）、守山区内ドライブ
11月9日	1名	職員1名	名古屋市老人福祉施設作品展（市民ギャラリー矢田）
H29年3月24日	1名	職員1名	はま寿司 守山店(外食)

平成28年度 施設内研修

実施日時	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
11月18日	守山豊生苑	オムツ研修「おむつの当て方」	全職員	16名

平成28年度 施設外研修

実施月日	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
5月26日	名古屋市 総合社会福祉会館	社会福祉施設栄養士 グループ研修 「施設における給食運営 の現状と課題」	管理栄養士	1名

平成28年度 施設外研修（続き）

実施月日	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
6月18日	TKP名古屋栄 カンファレンスセンター	「やさしいメニュー」セミナー&提案会 主催 尾家産業株式会社	管理栄養士	1名
7月14日	総合上飯田第一病院	地域医療連携講演会 「歩きたい！転びたくない！元気に歩くための身体づくり」	看護職員	1名
7月26日	名古屋市 総合社会福祉会館	社会福祉施設栄養士 グループ研修 「摂食嚥下障害のメカニズムについて」	管理栄養士	1名
8月19日	名古屋市社会福祉研修 センター	社会福祉施設職員地域連携推進研修 「施設と地域を繋ぐボランティアの力」	介護職員	1名
9月5日	名古屋市高年大学 鯉城ホール	薬学基礎知識研修 「福祉専門職として、これだけは知っておきたい薬の基礎知識」	介護職員	2名
9月20日	名古屋市公会堂 大ホール	名古屋市認定調査員研修 (現任研修)	生活相談員	1名
9月28日	名古屋市 総合社会福祉会館	社会福祉施設栄養士グループ研修 「個人の遺伝子気質を利用した最新の栄養指導法について学ぶ」	管理栄養士	1名
10月6日	名古屋市国際会議場	名古屋市介護職員等キャリアアップ研修 「摂食・嚥下障害と口腔ケアを実習」	介護職員	1名
10月6日	名古屋市 総合社会福祉会館	「虐待をおこさない為の基礎知識」	介護職員	1名

平成28年度 施設外研修（続き）

実施月日	開催場所	研修内容	研修対象者	参加人数
11月25日	愛知学院大学名城公園キャンパス	名古屋市介護職員等キャリアアップ研修 「介護職員意見交換研修会（サロン）」	介護職員	1名
11月25日	北区役所7階 社会福祉研修センター	名古屋市介護施設看護職員研修会 「高齢者施設でよく使用する薬剤の知識」	看護職員	1名
12月18日	愛知県歯科医師会館 歯〜とぴあホール	介護保険施設における口腔機能向上推進研修会	看護職員	1名
H29年 1月28日	名古屋市通信ビル 2階ホール	愛知県栄養士会研修 「がん患者の食事と栄養管理について」	管理栄養士	1名
2月7日	名古屋市高齢者就業支援センター	看護・介護担当者研修会 「口腔ケアについて」	介護職員	1名
2月10日	名古屋市高齢者就業支援センター	福祉施設・事業所防災セミナー 「大規模災害に備えた事業継続計画（BCP）の策定」	生活相談員	1名
3月9日	総合上飯田第一病院	地域医療連携講演会 「行動にはその人の理由がある ～認知症の対応と薬物療法～」	看護職員 介護職員	1名 1名

平成28年度 月間利用状況推移表 (地域密着型介護老人福祉施設)

定員 29 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人員	29	29	29	29	28	28	28	28	29	28	28	28	343
延べ利用 人員日数	870	899	867	885	868	840	868	850	872	827	765	868	10,279
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均 利用人員	29.0	29.0	28.9	28.5	28.0	28.0	28.0	28.3	28.1	26.7	27.3	28.0	28.2
利用率 (%) 延べ人員/ 定員×当月日数	100.0	100.0	99.7	98.4	96.6	96.6	96.6	97.7	97.0	92.0	94.2	96.6	97.1
入院日数 (延べ日数)	0	0	0	9	31	0	0	2	0	0	0	0	42
入院日数を 加味した延べ利用 人員日数	870	899	867	894	899	840	868	852	872	827	765	868	10,321

## 2. 短期入所生活介護 守山豊生苑

1) 利用人数7名、延べ利用日数113日のご利用があり、0.5%の稼働率を達成できました。

2) 緊急の利用希望に対して、ケアマネジャーと連携をとりながら迅速に利用を進めることができました。

### 3) ショートステイ利用状況

性別	年齢	要介護度	利用期間	空床内容
女性	95	要介護5	8月23日～9月15日(24日間)	入院ベッド
女性	90	要介護4	9月18日～10月31日(44日間)	退所ベッド
男性	95	要介護1	12月31日～平成29年1月3日(4日間)	退所ベッド
女性	87	要支援2	1月26日～2月24日(30日間)	退所ベッド
男性	89	要介護3	2月9日～2月19日(11日間)	退所ベッド

### 職員配置 (入所者定員…施設入所者29名)

区分	配置基準	職員数		
		常勤	非常勤	合計
施設長	1	1		1
医師(嘱託医)	1		1	1
介護支援専門員	1	1		1
生活相談員	1	介護支援 専門員兼務		介護支援 専門員兼務
介護職員	10	11	4.1 (10)	15.1 (21)
看護師	1	2	0.2(3)	2.2(5)
機能訓練指導員	1		看護職員兼務	看護職員兼務
栄養士	1	1		1
調理員			2(2)	2(2)
事務員				
その他				
合計	17	16	7.3 (16)	23.3 (32)

兼務は人数に入れない。( )内は実人数

平成29年3月31日 現在

平成28年度 月間利用状況推移表 (シヨートステイ)

すべて  
定員 29 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人員	0	0	0	0	1	2	1	0	1	2	2	0	9
延べ利用 人員日数	0	0	0	0	9	28	31	0	1	9	35	0	113
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均 利用人員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.9	1.0	0.0	0.0	0.3	1.3	0.0	0.3
利用率 (%) 延べ人員 / 定員 × 当月日数	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.2	3.4	0.0	0.1	1.0	4.3	0.0	1.1

## 平成28年度 収益事業報告

社会福祉法人 和進奉仕会

### 1. 駐車場事業

米国や英国における既存政治への不信感は大きなうねりとなり、大幅な政策転換を主張する政治家が支持を集めた一年でした。そうした諸外国の政治環境の激変に、日本経済もまた翻弄され、様々な影響を受けています。日銀は景気判断を上方修正しましたが、大企業を中心に不安感も強く、先行きは予断を許さない状況です。

このような環境のなか、当奉仕会の駐車場収益事業は、年間平均入車率 91.1% (前年度 85.7%)、賃貸収入 3,228,567円 (前年度対比 106.1%) を計上し、本部会計へ 1,000,000円の繰入を行いました。

当該地域の駐車場は、供給過剰の状況で、需給のバランスが崩れており、このことは今しばらく続くと思われま

